

資料編

1 地域の概況

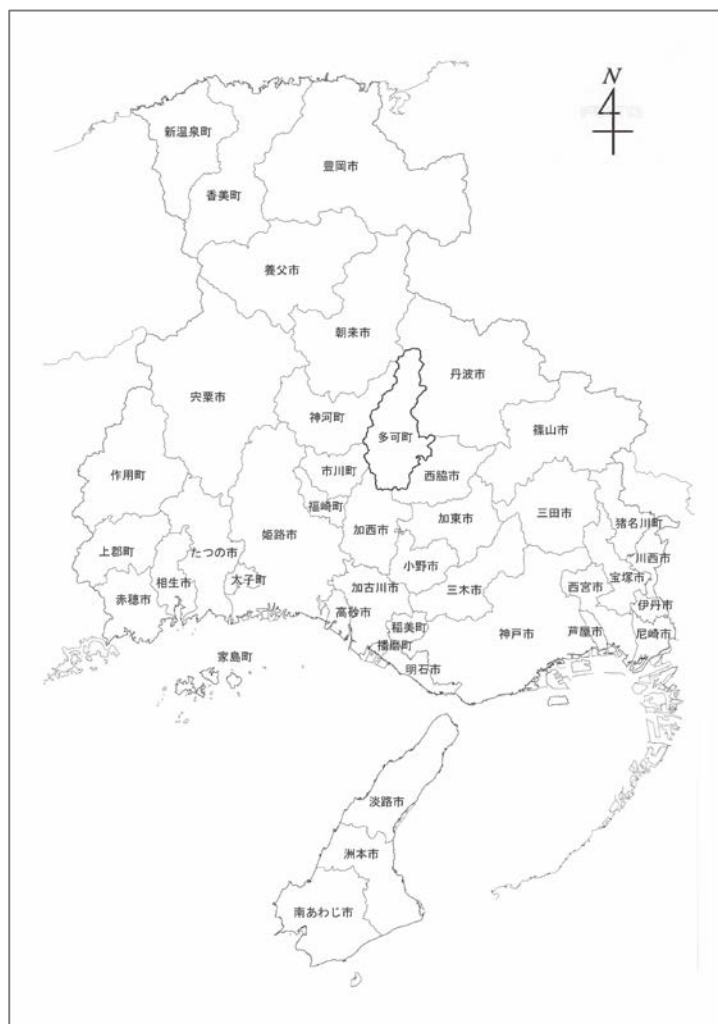
(1)自然的状況

①位置・地勢

本町は、兵庫県の東播磨地域の内陸部に位置しています。直線距離で神戸まで約 45km、大阪まで 70km の距離にあり、町域の面積は 185.19km²となっています。

地形としては、周囲を中国山地に囲まれ、三国山を源とする杉原川が加美区、中区の中央部を貫流し、笠形山を源とする野間川が八千代区の中央部を南流し、西脇市内で県内最長の加古川と合流し、瀬戸内海に流れています。

図表 1－1 位置図



②気象

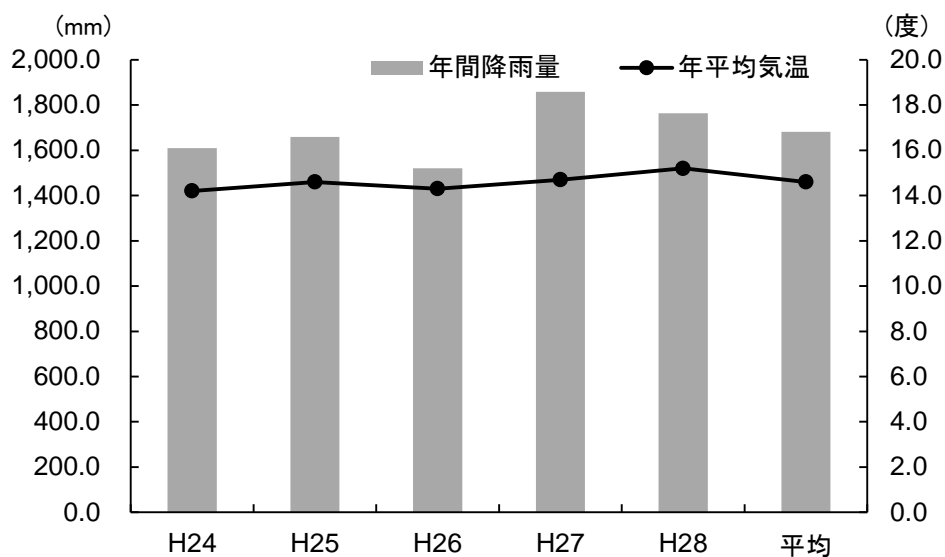
本町に最も近接する西脇観測所のデータをみると、2012（平成 24）年～2016（平成 28 年）の 5 年間の年平均気温は 14.6 度、年間降水量は 1,681.9mm、平均風速は 0.8m/秒、年間日照時間は 1,681.4 時間となっています。

図表 1－2 気象の経年変化

項目		H24	H25	H26	H27	H28	平均
年平均気温	（度）	14.2	14.6	14.3	14.7	15.2	14.6
記録最高気温	（度）	36.5	37.7	36.1	37.0	36.8	36.8
記録最低気温	（度）	-8.6	-6.6	-4.8	-4.6	-7.7	-6.5
年間降雨量	（mm）	1,610.0	1,658.5	1,520.0	1,858.0	1,763.0	1,681.9
日最大雨量	（mm）	85.0	128.0	116.5	224.0	115.5	133.8
平均風速	（m/秒）	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8
最大風速	（m/秒）	8.6	7.7	6.9	6.2	7.6	7.4
年間日照時間	（時間）	1,665.8	1,805.5	1,659.8	1,594.8	1,680.9	1,681.4

出典：気象庁ホームページ（西脇観測所データ）

図表 1－3 年間降雨量と年平均気温（西脇観測所）



(2)社会的状況

①人口・世帯

2015（平成 27）年 10 月 1 日現在の人口は 22,064 人で、減少傾向が続いています。10 年前の 2006（平成 18）年と比べると、2,903 人減少しています。一方、2015（平成 27）年の世帯数 7,517 世帯で、近年増加傾向にあり、2006（平成 18）年と比べると、141 世帯増加となっています。

図表 1－4 人口・世帯数の推移

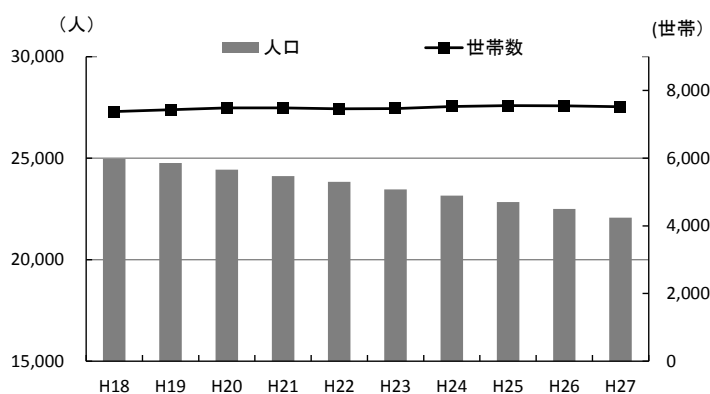
単位：人口＝人、世帯数＝世帯

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
人口	24,967	24,757	24,435	24,122	23,834	23,459	23,157	22,841	22,494	22,064
世帯数	7,376	7,431	7,483	7,484	7,462	7,469	7,528	7,553	7,544	7,517

出典：多可町ホームページ統計情報

（毎年 10 月 1 日現在）

図表 1－5 人口・世帯数の推移



②産業

本町の産業別事業者数及び従業者数を図表 1－6 から 1－9 に示します。本町は第 1 次産業が少なく、第 2 次産業と第 3 次産業が事業者数、従業者数の約 99%を占めています。2009（平成 21）年度からの経年変化をみると、事業者数、従業者数ともに 2012（平成 24）年度に減少したものの、2014（平成 26）年度には増加に転じています。

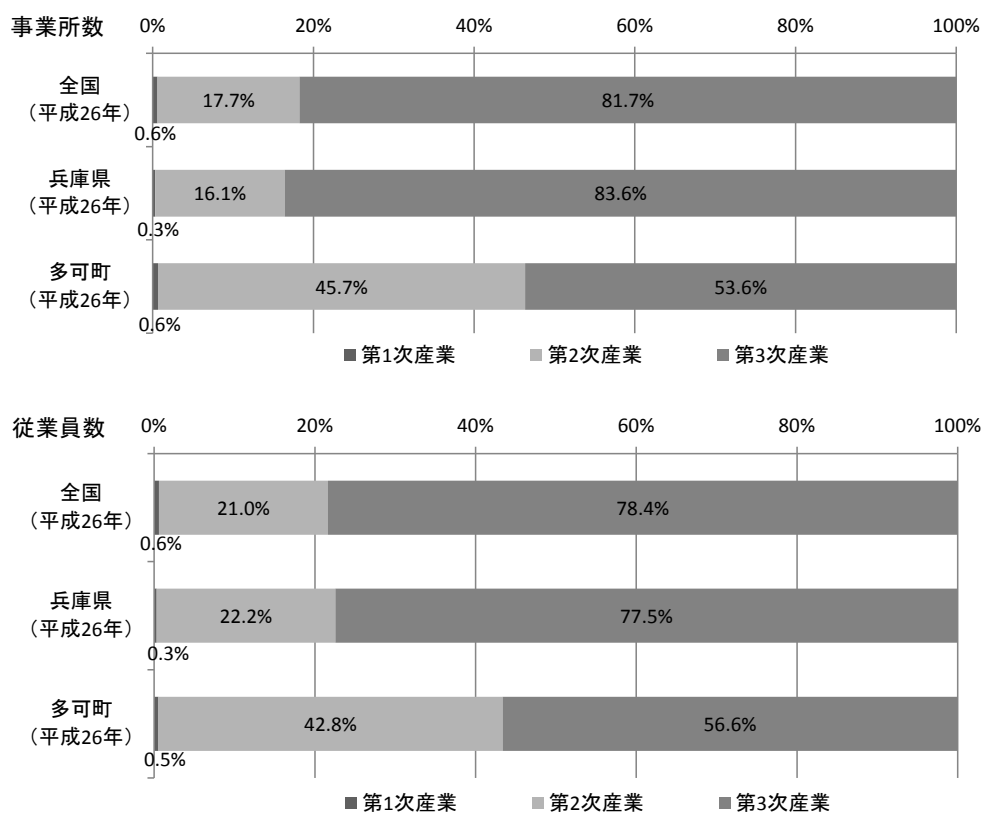
図表 1－6 事業者数・従業者数の推移

単位：事業所数＝事業所、従業者数＝人

	H21		H24		H26					
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数			従業者数		
	多可町	多可町	多可町	多可町	全国	兵庫県	多可町	全国	兵庫県	多可町
第1次産業	7	67	4	37	34,182	677	8	363,981	7,602	46
第2次産業	619	3,646	553	3,480	1,004,254	37,077	564	13,000,455	530,176	3,774
第3次産業	661	4,936	553	3,945	4,650,930	192,058	662	48,424,417	1,848,407	4,988
総数	1,287	8,649	1,110	7,462	5,689,366	229,812	1,234	61,788,853	2,386,185	8,808

出典：経済センサス（総務省統計局）

図表 1－7 産業別事業者数・従業者数の割合



図表 1－8 産業大分類別事業者数・従業者数

単位：事業者数＝事業所、従業者数＝人

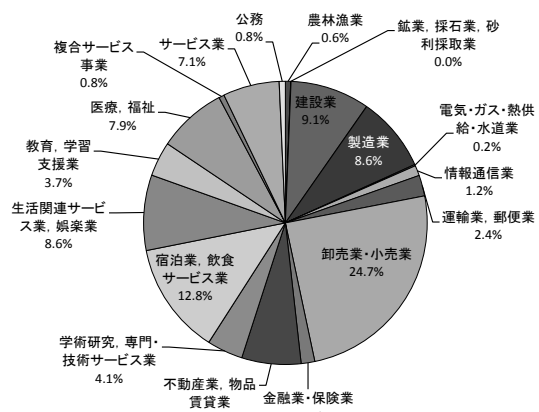
	全国		兵庫県		多可町	
	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数
農林漁業	34,182	363,981	677	7,602	8	46
鉱業、採石業、砂利採取業	1,983	19,916	46	394	—	—
建設業	515,080	3,791,607	17,707	115,694	185	549
製造業	487,191	9,188,932	19,324	414,088	379	3,225
電気・ガス・熱供給・水道業	8,642	279,215	308	10,069	2	24
情報通信業	66,309	1,631,128	1,727	24,916	3	22
運輸業、郵便業	134,954	3,284,028	5,406	135,255	31	467
卸売業・小売業	1,407,414	12,032,863	56,982	457,485	216	1,113
金融業・保険業	87,088	1,513,397	3,231	45,172	10	64
不動産業、物品賃貸業	385,072	1,496,139	15,757	57,622	13	40
学術研究、専門・技術サービス業	232,305	1,891,364	8,591	63,788	36	132
宿泊業、飲食サービス業	728,027	5,520,648	33,127	232,950	72	290
生活関連サービス業、娯楽業	490,081	2,540,029	19,276	103,184	78	348
教育、学習支援業	224,081	3,142,070	10,509	130,494	29	520
医療、福祉	446,890	7,932,400	19,737	348,601	68	1,428
複合サービス事業	34,876	518,812	1,345	18,077	12	149
サービス業(他に分類されないもの)	365,457	4,745,745	14,773	157,377	82	240
公務(他に分類されるものを除く)	39,734	1,896,579	1,289	63,417	10	151
全産業	5,689,366	61,788,853	229,812	2,386,185	1,234	8,808

平成26年7月1日現在

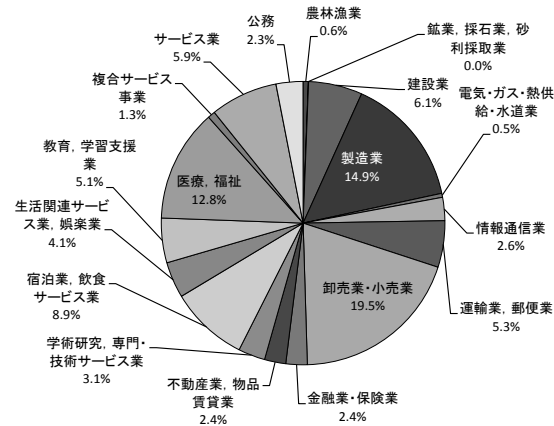
出典：経済センサス（総務省統計局）

図表 1－9 産業大分類別事業者数・従業者数（平成26年7月1日現在）

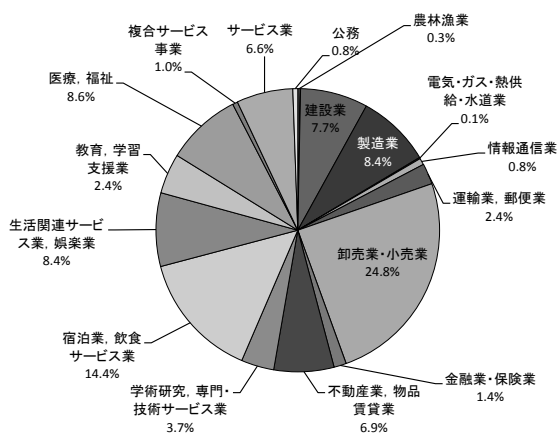
●全国（事業者数）



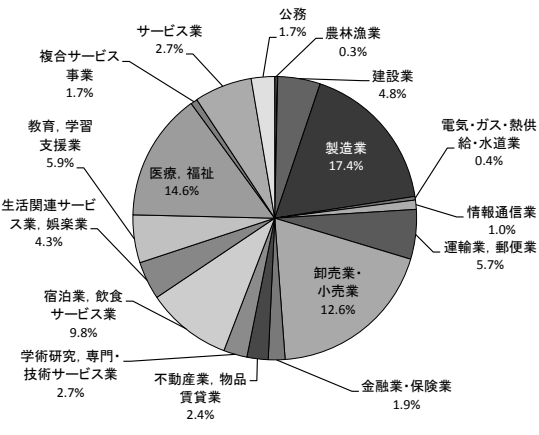
●全国（従業者数）



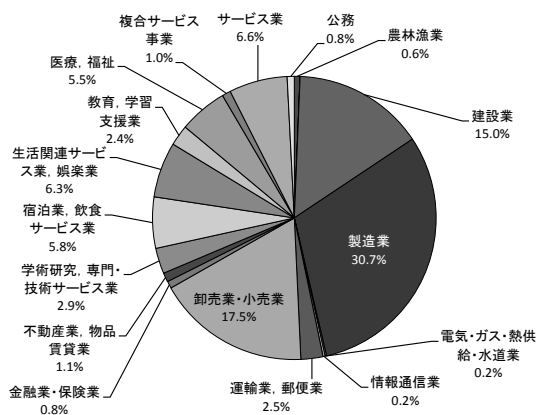
●兵庫県（事業者数）



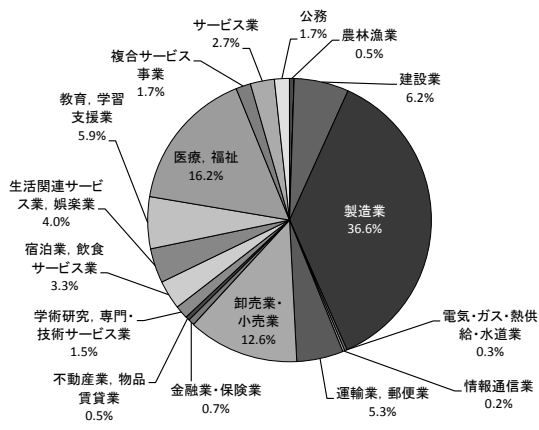
●兵庫県（従業者数）



●多可町（事業者数）



●多可町（従業者数）



また、各種生産額をみると、商品販売額が最も多く、次いで製造品出荷額等となっています。一方、農業産出額は少ない状況です。

図表 1－10 各種生産額

単位:百万円

	農業産出額※1	製造品出荷額等※2	年間商品販売額※3
金額	2,020	4,374	21,946

(※1) 農業産出額: 農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果

(※2) 製造品出荷額等: 平成26年工業統計調査

(※3) 年間商品販売額: 平成26年商業統計調査

③土地利用

本町の土地利用状況を図表 1－11、1－12 に示します。本町の約 75%を山林が占めており、次いで田が 14.7%、宅地が 6.1%となっています。畑及びその他の占める面積はわずかとなっています。

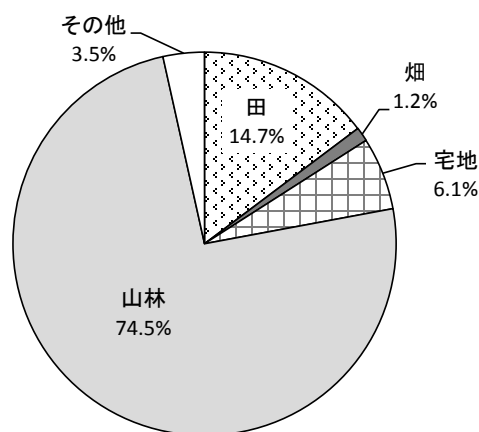
図表 1－11 土地利用状況

単位:千㎡

	田	畑	宅地	山林	その他	合 計
多可町	13,579	1,109	5,641	68,575	3,203	92,107

出典:多可町 税務課資料(概要調書)

図表 1－12 土地利用状況



また、本町の都市計画決定状況をみると、本町域の約 26％を都市計画区域としていますが、市街化区域の設定は行っていない。

図表 1－13 都市計画決定状況

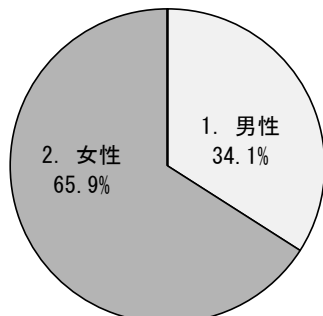
単位：ha

区 分	都市計画区域	市街化区域	市街化調整区域	用途地域
面積	4,802	—	—	—

出典：平成28年度都市計画現況調査結果

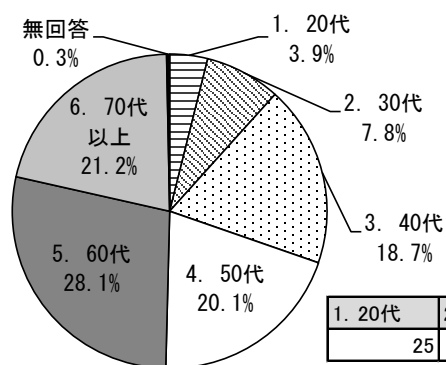
2 住民アンケート結果

■性別



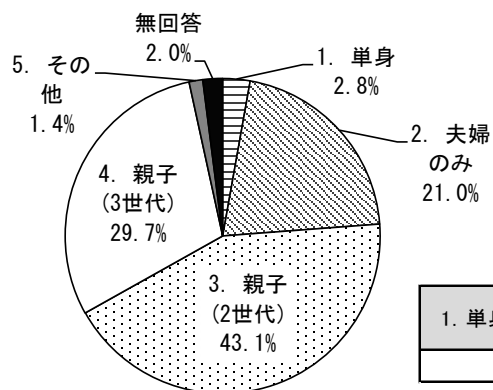
1. 男性	2. 女性	無回答
219	424	0

■年齢



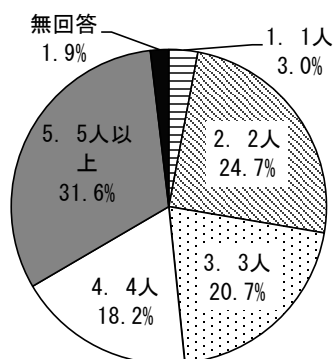
1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代	6. 70代以上	無回答
25	50	120	129	181	136	2

■世帯構成



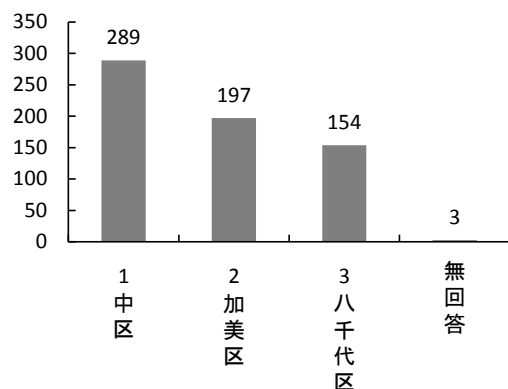
1. 単身	2. 夫婦のみ	3. 親子(2世代)	4. 親子(3世代)	5. その他	無回答
18	135	277	191	9	13

■世帯人数 (※あなた自身を含みます)

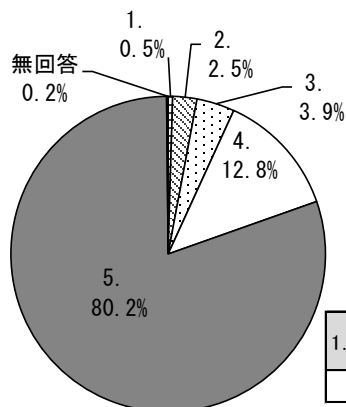


1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上	無回答
19	159	133	117	203	12

■居住地区（現在お住まいの地域を選んでください）

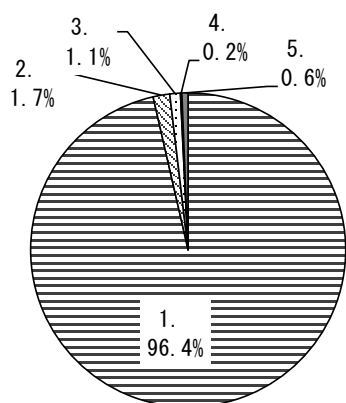


■居住年数（※多可町内における居住年数です）



1. 1年未満	2. 1年以上～5年未満	3. 5年以上～10年未満	4. 10年以上～20年未満	5. 20年以上	無回答
3	16	25	82	516	1

■居住形態

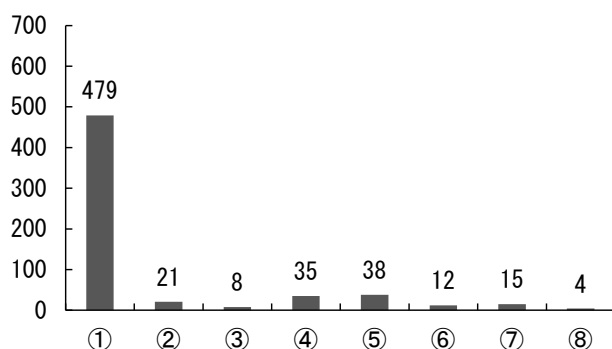


1. 戸建て住宅	2. 店舗・事業所付き住宅	3. マンション・アパート等の集合住宅	4. 社員寮、学生寮、社宅	5. その他
620	11	7	1	4

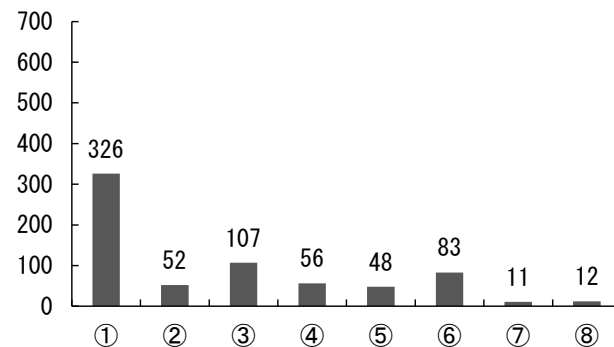
問1 現状の分別品目で、分別の際に困っていることはありますか。ある方は、あてはまるものをそれぞれお答えください。（それぞれ〇は3つまで）

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ① 困ることなく分別できる | ② どの分別区分に該当するか分からない |
| ③ 手間である（洗う、束ねる等） | ④ 素材が分からないものがある |
| ⑤ 異なる素材がくっついていて分けられない | ⑥ どこまで汚れを取ったら良いか分からない |
| ⑦ 収集日までの保管場所がない | ⑧ このごみは普段出さない／出したことがない |

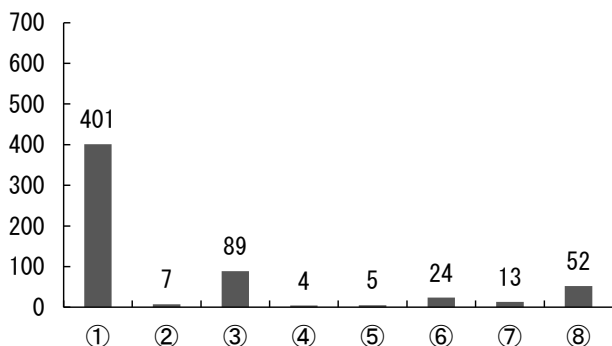
1. 燃えるごみ



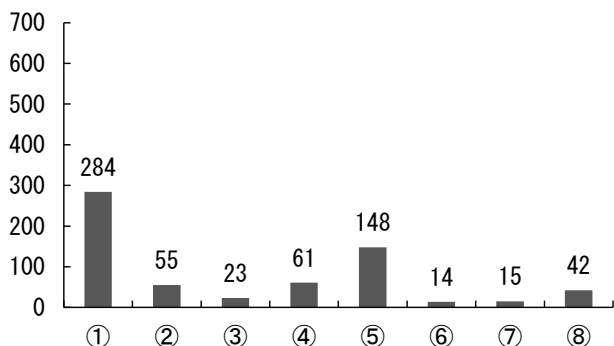
2. 容器包装プラスチック



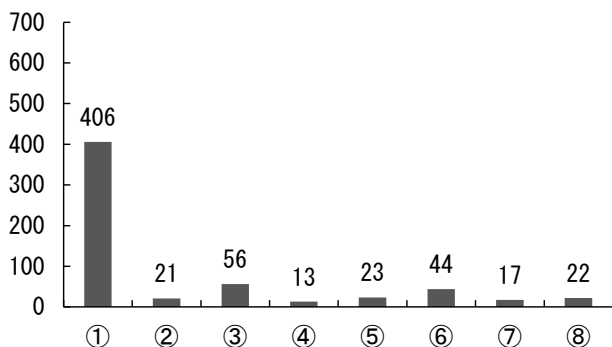
3. ペットボトル



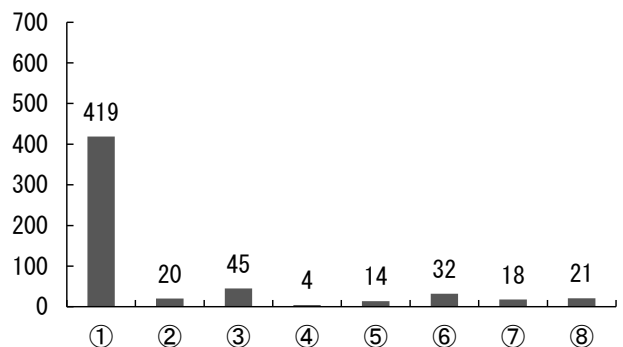
4. 金属類



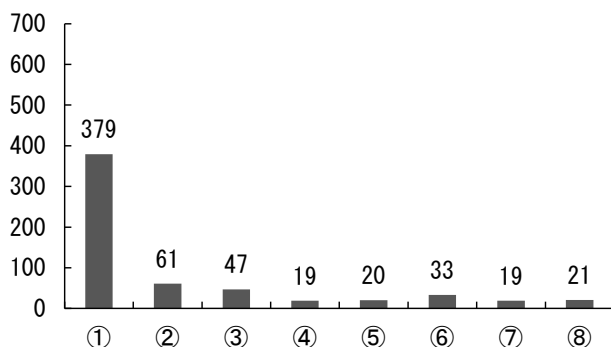
5. 無色透明ビン



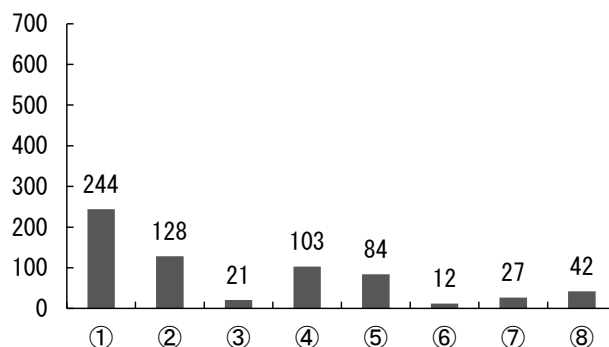
6. 茶色ビン



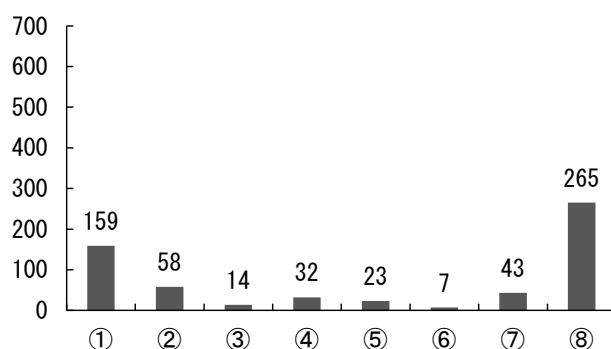
7. 色ビン



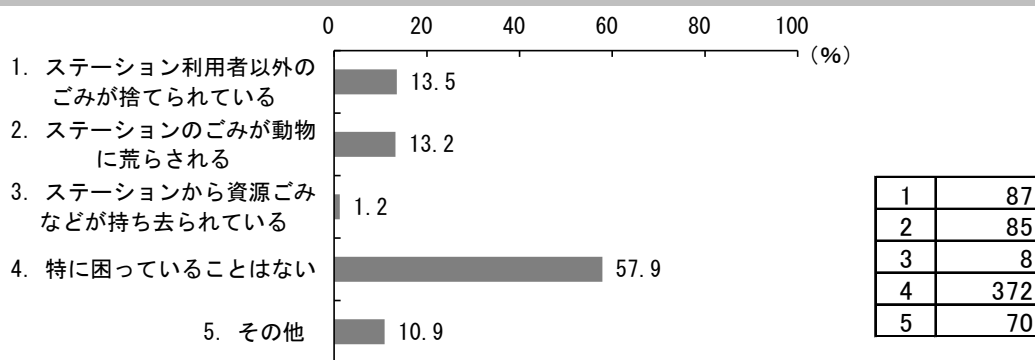
8. その他の不燃物類



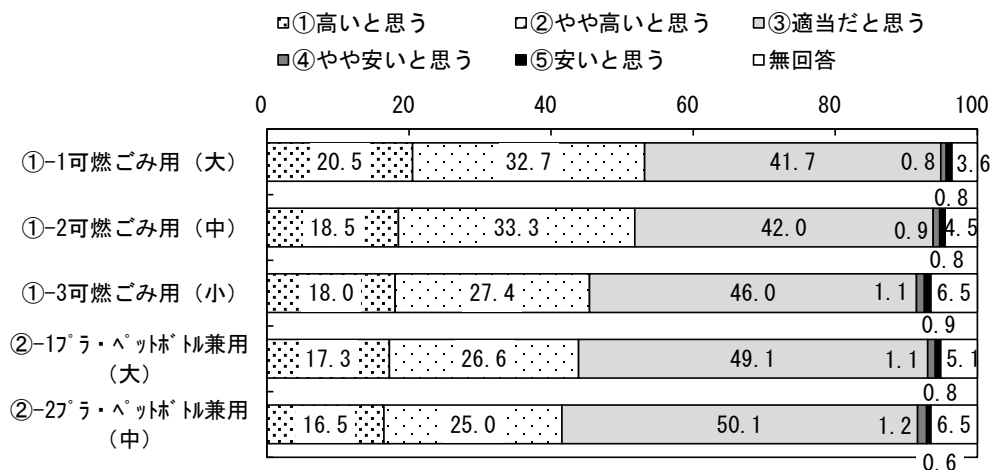
9. 大型ごみ



問2 ステーション排出に関して、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

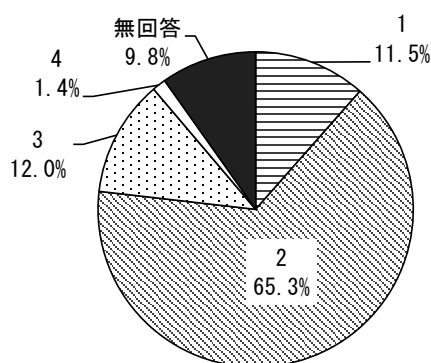


問3 現状の指定ごみ袋の価格についてどう思いますか？(それぞれ〇は1つ)



	①	②	③	④	⑤	無回答
①-1可燃ごみ用(大)	132	210	268	5	5	23
①-2可燃ごみ用(中)	119	214	270	6	5	29
①-3可燃ごみ用(小)	116	176	296	7	6	42
②-1プラ・ペットボトル兼用(大)	111	171	316	7	5	33
②-2プラ・ペットボトル兼用(中)	106	161	322	8	4	42

問4 あなたは、ごみの分別や減量化、資源化にどの程度関心がありますか。(〇は1つ)

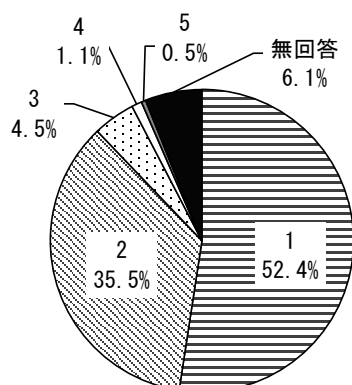


1. 非常に関心がある	74
2. ある程度関心がある	420
3. あまり関心がない	77
4. まったく関心がない	9
無回答	63

問5 ごみの分別や減量化、資源化に関する以下の項目について、どの程度取り組んでいますか？あてはまるものそれぞれ1つに〇をしてください。

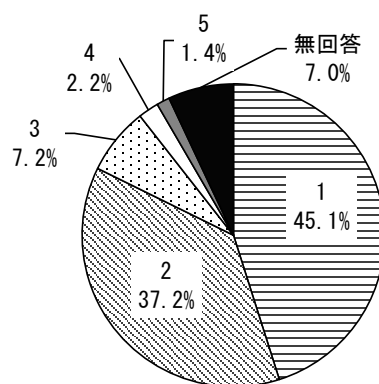
- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. いつもしている | 2. ほとんどしている | 3. 時々している |
| 4. ほとんどしていない | 5. まったくしていない | |

1. ごみの分別をきちんとしている



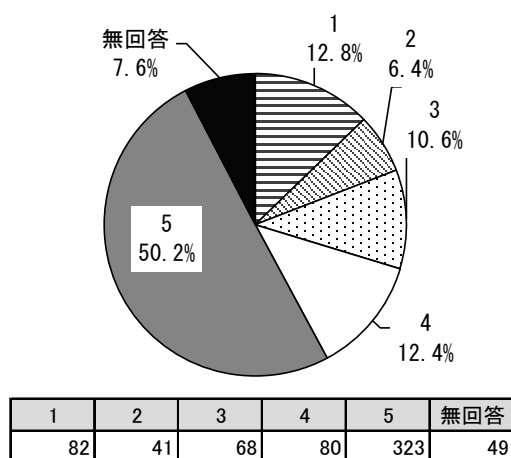
1	2	3	4	5	無回答
337	228	29	7	3	39

2. 生ごみを出すときは水気を切るよう努めている

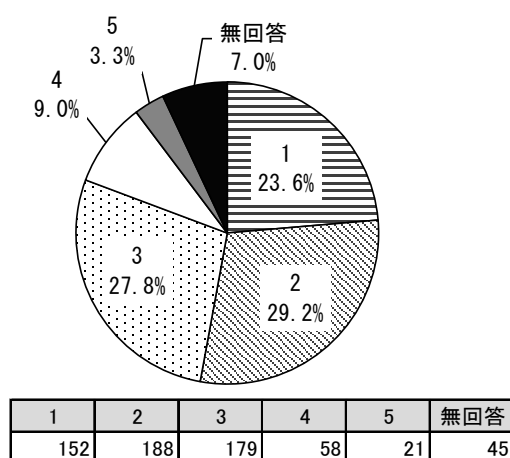


1	2	3	4	5	無回答
290	239	46	14	9	45

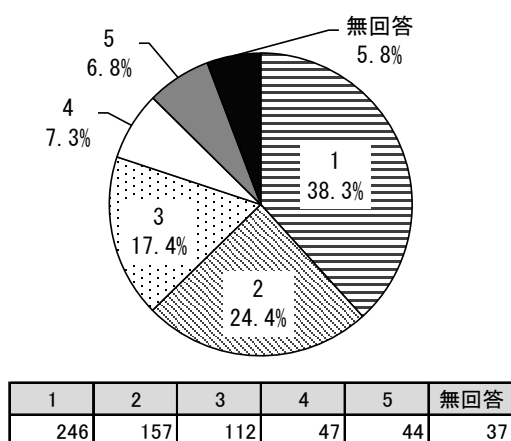
3. 生ごみ処理機などを使用し、減量・堆肥化している



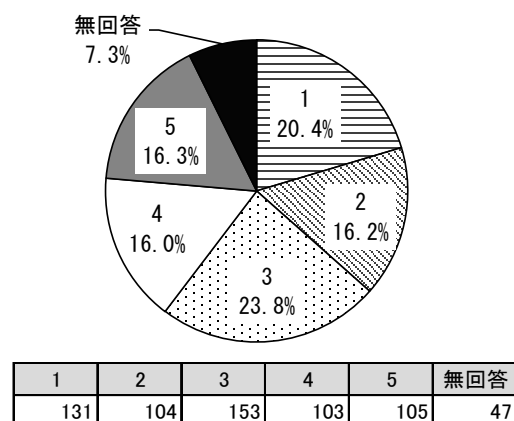
4. 食材を買いすぎないようにしている



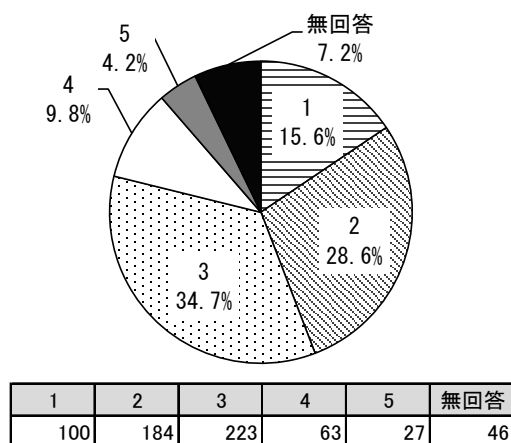
5. マイバッグを持参し、レジ袋をもらわない



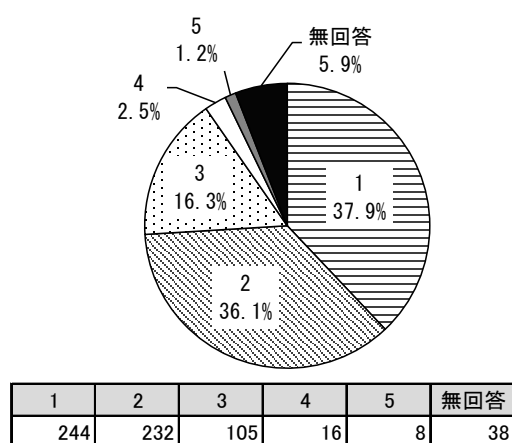
6. マイ箸やマイボトルを使っている



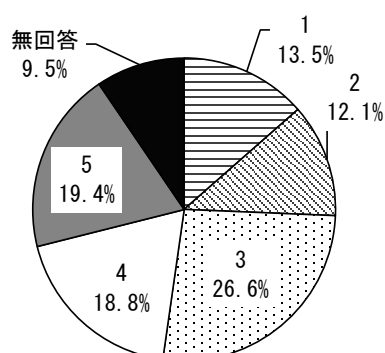
7. 使い捨てでなく、長期間使うことのできる商品を選んでいる



8. 詰め替えタイプや繰り返し使用できる商品を選んでいる

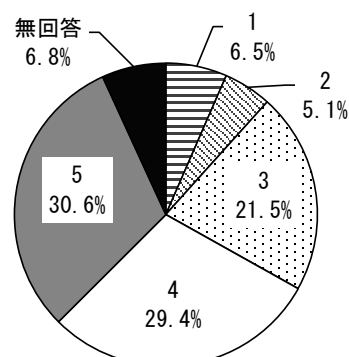


9. 小型家電の拠点回収を活用している



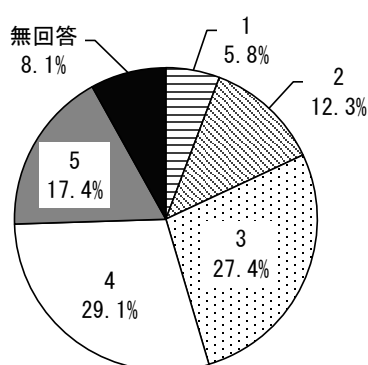
1	2	3	4	5	無回答
87	78	171	121	125	61

10. 不用品はフリーマーケットやリユースショップへ出すなど、リユース（再使用）に努めている



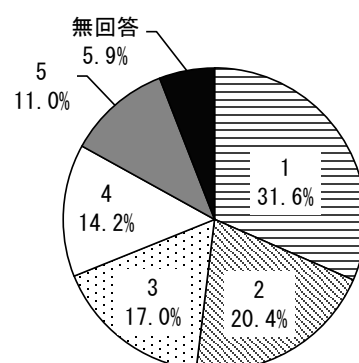
1	2	3	4	5	無回答
42	33	138	189	197	44

11. 簡易包装など、ごみ減量・資源化に取り組んでいる店舗から買い物をするように努めている



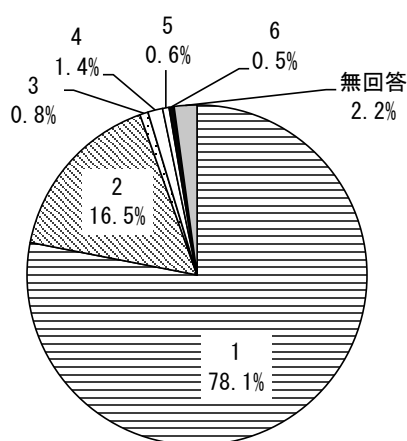
1	2	3	4	5	無回答
37	79	176	187	112	52

12. 食品トレイや牛乳パック、ペットボトルなどの資源品は、できるだけ販売店へ返却している



1	2	3	4	5	無回答
203	131	109	91	71	38

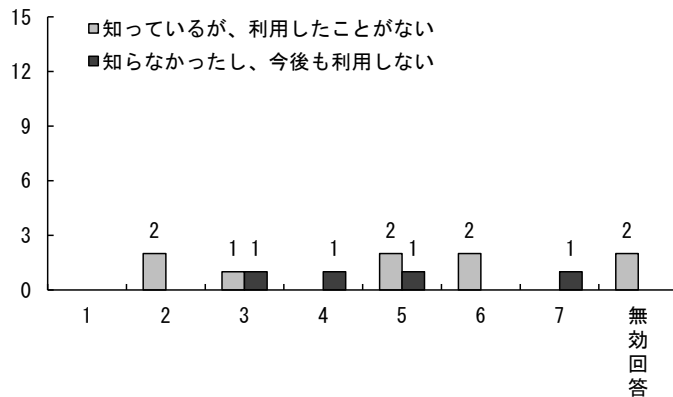
問6 - 1 地域の子ども会などが行う資源ごみ回収を利用していますか。（○は1つ）



1	2	3	4	5	6	無回答
502	106	5	9	4	3	14

1. 毎回利用している
2. 時々利用している
3. 知らなかったが、今後は利用したい
4. 知っているが、利用したことがない
5. 知らなかったし、今後も利用しない
6. 住んでいる地域では集団回収を実施していない
7. その他

問6 - 2 問6 - 1 で4、5に○をつけた方にお聞きします。その理由は、次のどれですか。(○は1つ)



1. 回収場所が遠いから
2. 回収の回数が少ないから
3. 分別するのが手間だから
4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから
5. 店舗等に設置されている無料回収ボックスを利用しているから
6. 事業者が空き地等に設置している無料回収ボックスを利用しているから
7. その他

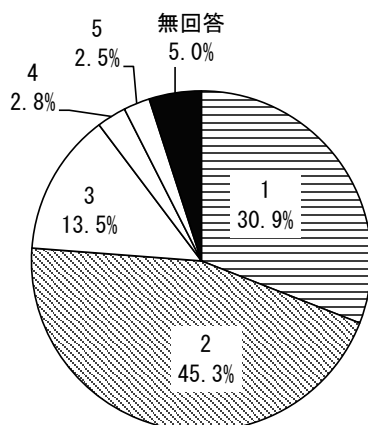
問7 - 1 可燃ごみの減量化や資源化について、他自治体では ①生ごみ、②剪定枝・草木、③雑紙※、④紙おむつ などの分別回収を行っている事例もあります。もし、これらを分別回収となった場合、どの程度ご協力いただけますか。それぞれの項目で該当するものをお選びください。(○は1つ)

問7 - 2 問7-1で3、4、5に○をつけた方にお聞きします。その理由は、次のどれですか。(それぞれ○は1つ)

①生ごみ

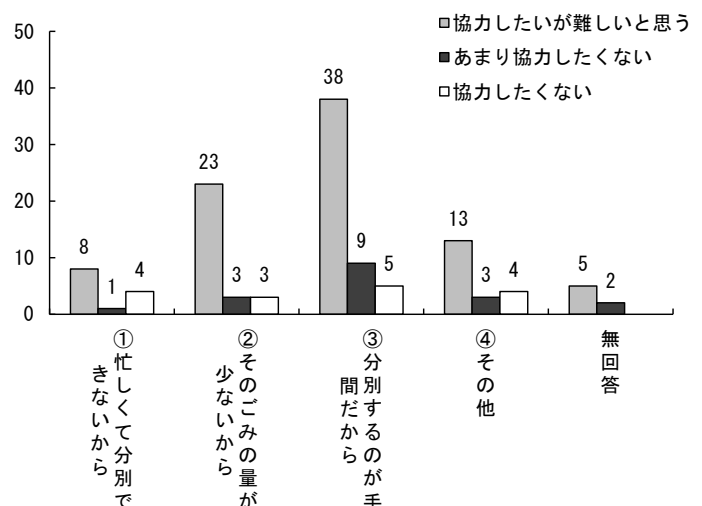
【協力】

1. 積極的に協力したい
2. できる限り協力したい
3. 協力したいが難しいと思う
4. あまり協力したくない
5. 協力したくない



1	2	3	4	5	無回答
199	291	87	18	16	32

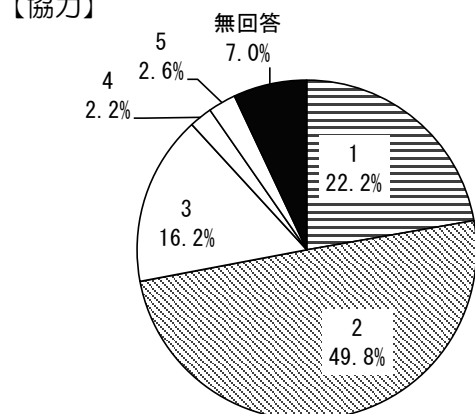
【理由】



※雑紙：包装紙、紙箱、紙袋、コピー用紙・メモ用紙、画用紙、封筒・はがき、ちらし、カタログなど、新聞・ダンボール以外のリサイクルできる紙類をいいます。

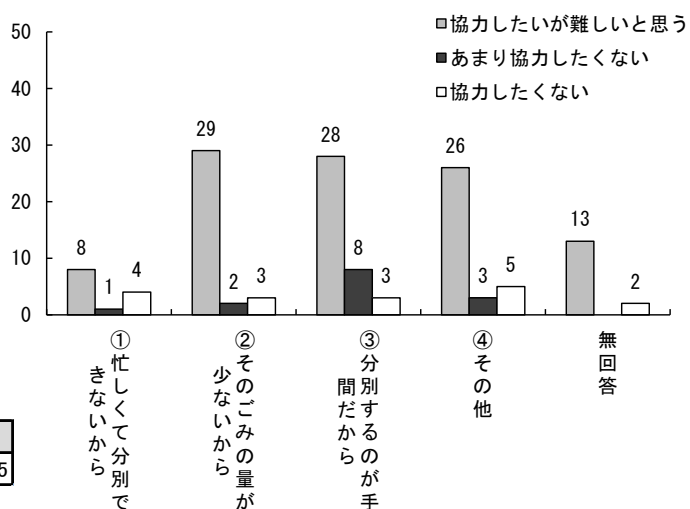
②剪定枝・草木

【協力】



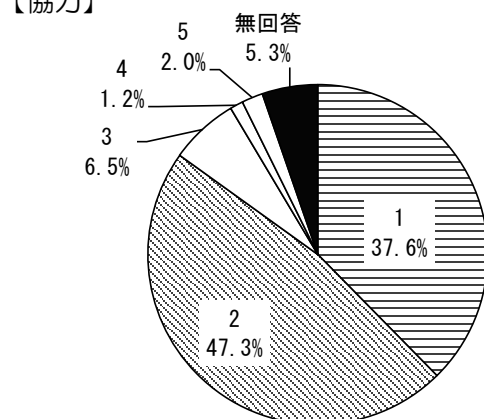
1	2	3	4	5	無回答
143	320	104	14	17	45

【理由】



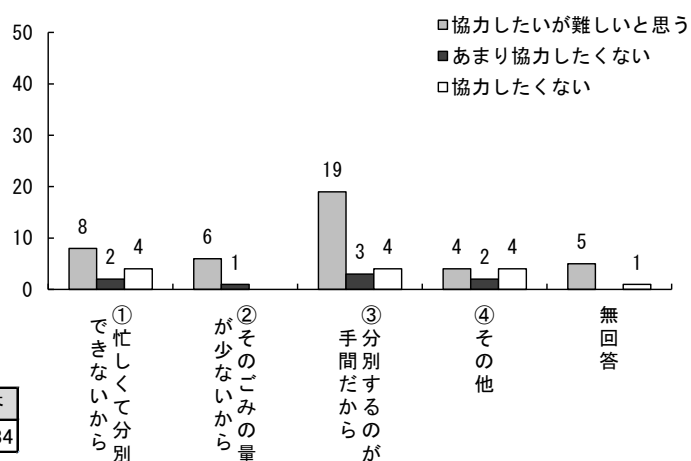
③雑紙

【協力】



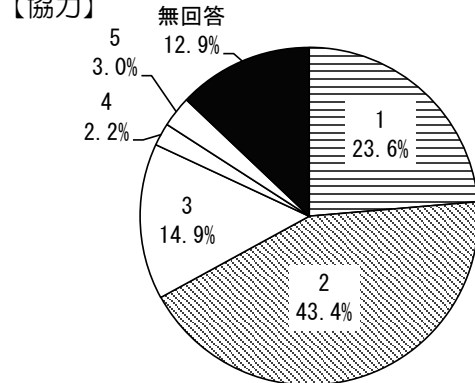
1	2	3	4	5	無回答
242	304	42	8	13	34

【理由】



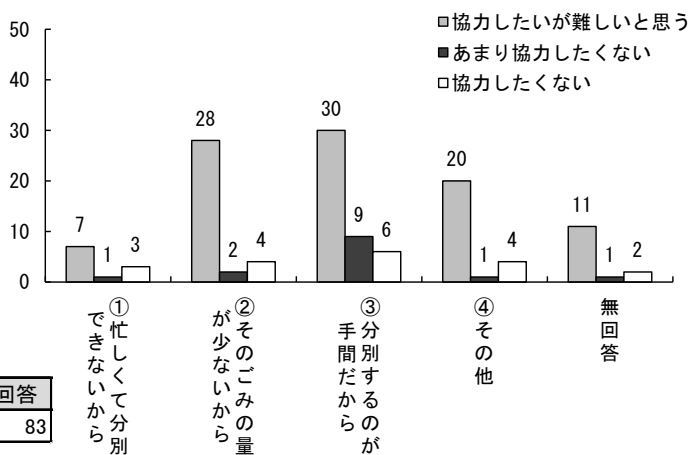
④紙おむつ

【協力】

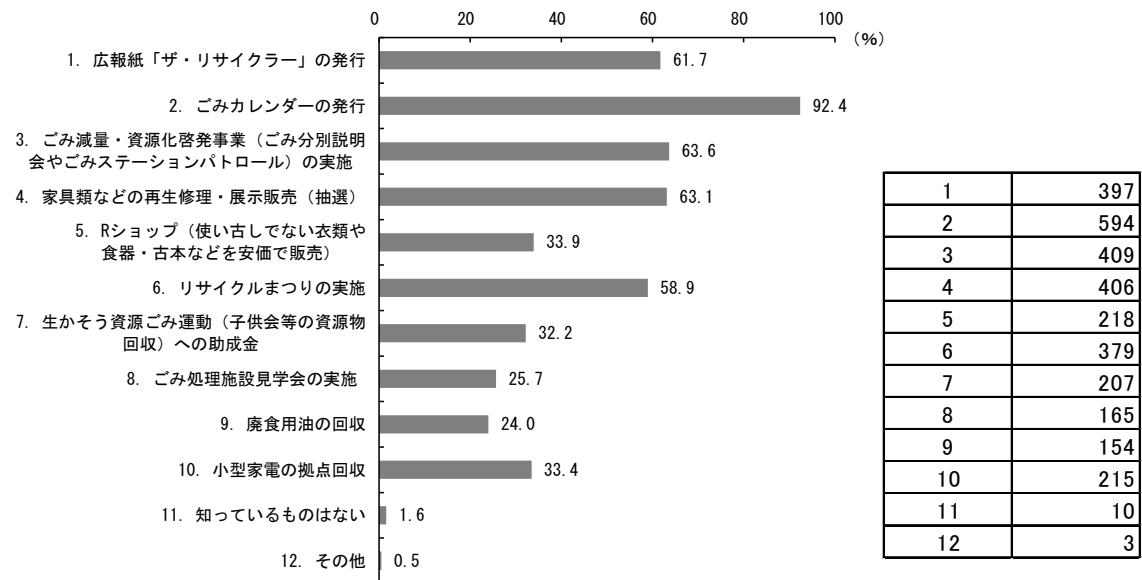


1	2	3	4	5	無回答
152	279	96	14	19	83

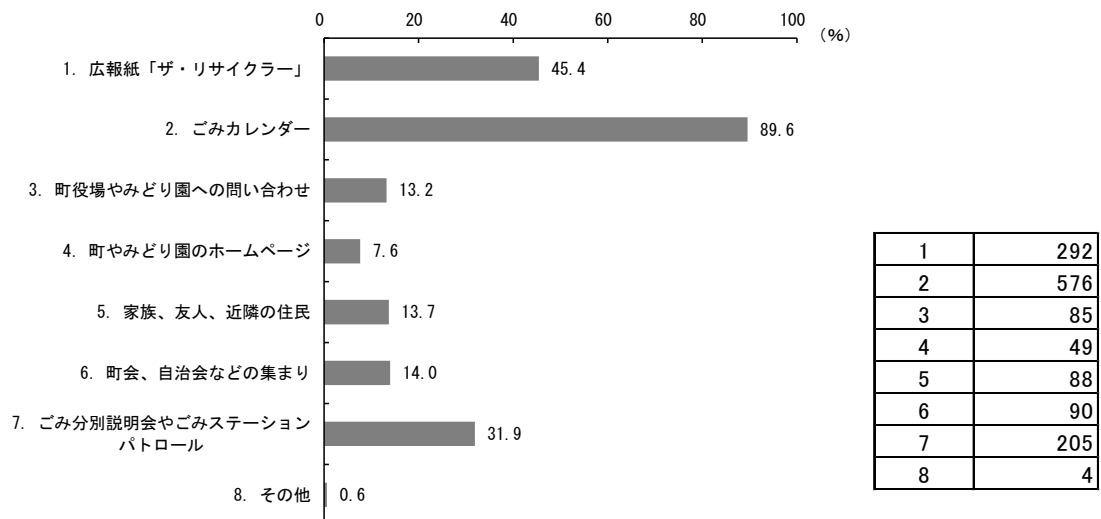
【理由】



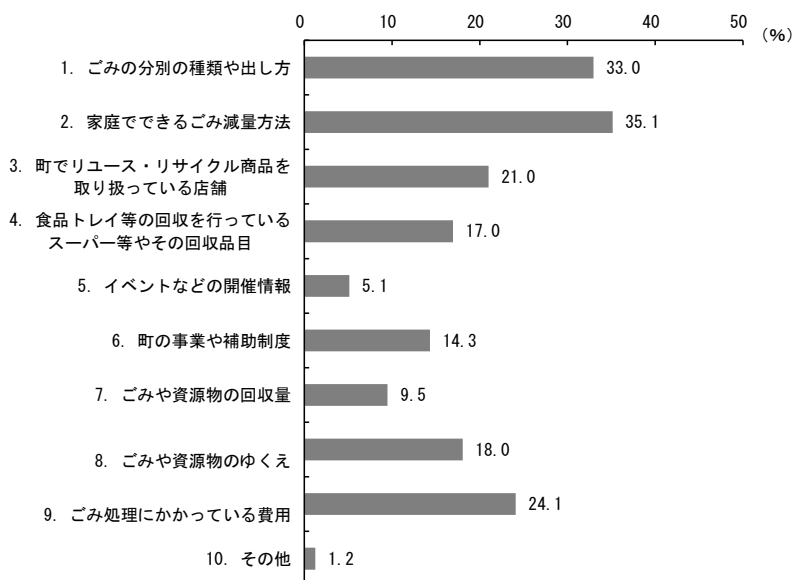
問8 多可町及びみどり園が行っている施策について、知っているものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）



問9 ごみの分別や減量化、資源化などに関する情報をどのようにして入手していますか。（〇はいくつでも）

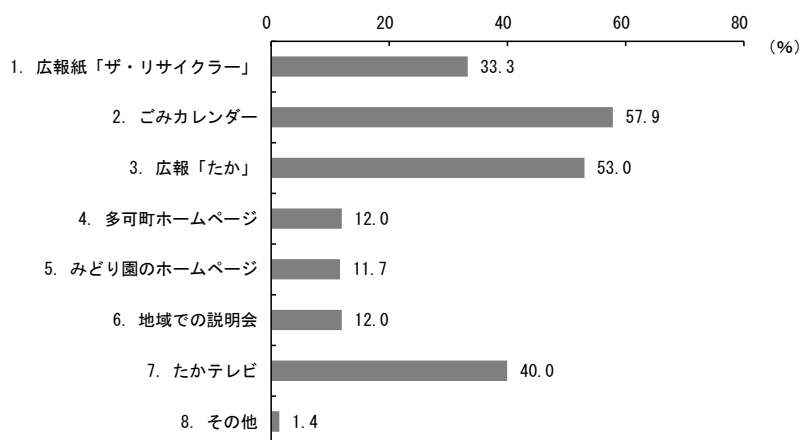


問 10 ごみの分別や減量化、資源化などに関する情報について、もっと知りたい情報はどのようなことですか。(〇はいくつでも)



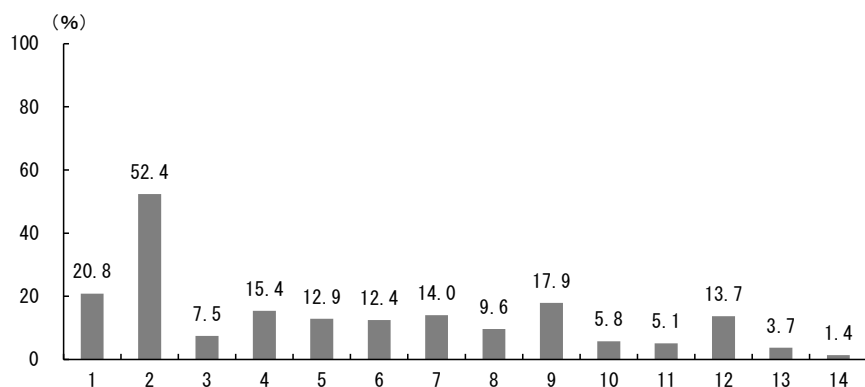
1	212
2	226
3	135
4	109
5	33
6	92
7	61
8	116
9	155
10	8

問 11 今後、ごみの分別や減量化、資源化などに関する情報を受け取る手段として、充実させた方が良いと思うメディアはありますか。(〇はいくつでも)



1	214
2	372
3	341
4	77
5	75
6	77
7	257
8	9

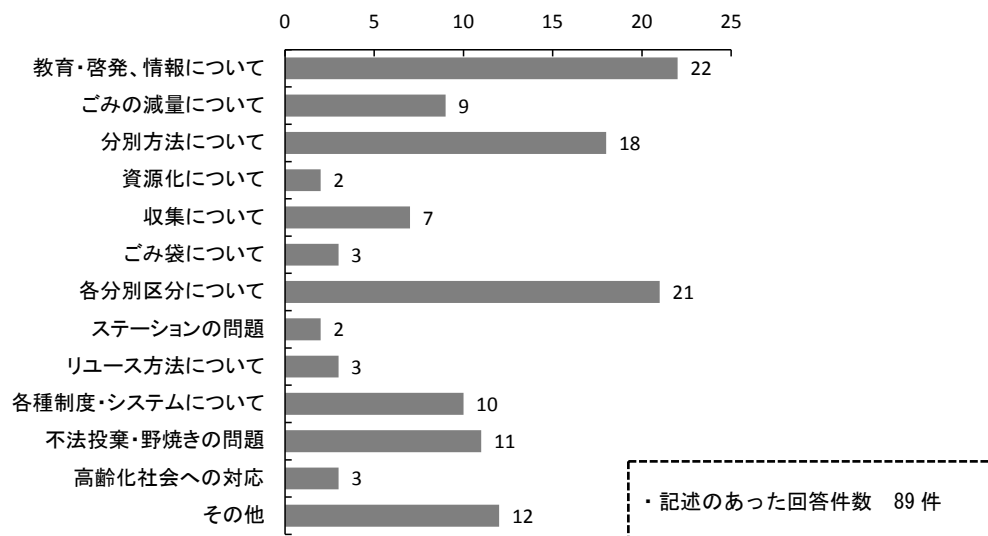
問 12 さらなるごみの分別や減量化、資源化を進めていくためにはどのような行政の施策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)



1	134
2	337
3	48
4	99
5	83
6	80
7	90
8	62
9	115
10	37
11	33
12	88
13	24
14	9

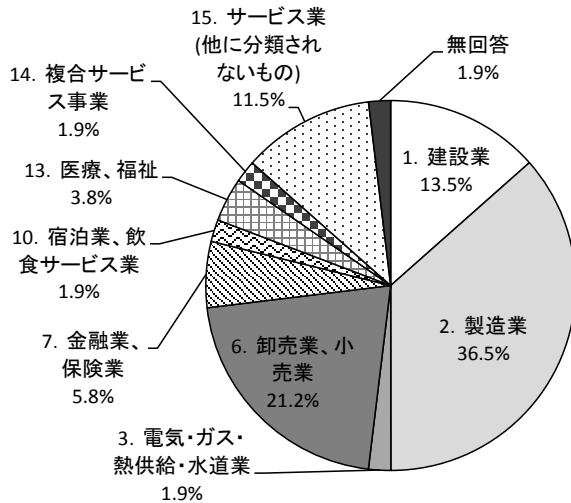
1. ごみの減量のアイデアを募集し、紹介する
2. 分別がわかりにくいものを広報などで定期的に取り上げる
3. 生ごみの水切りをより広く周知する
4. 家庭で生ごみを処理できる生ごみ処理機をより広く周知し、利用者を拡大する
5. 食べ残しなどの食品の無駄をなくすよう広く周知する
6. フリーマーケットなどの不用品交換イベントを推進する
7. リユースショップの情報や不用品を売買できるような情報を提供する
8. 簡易包装や量り売り、店頭回収に取り組む店舗の情報を提供する
9. マイバッグ、マイボトル、マイ箸などの使用を推進する
10. ワンルームマンション等への分別の周知を徹底する
11. ごみの分別や減量化、資源化について地域で勉強会を開き、家庭での取組みを推進する
12. ごみの分別や減量化、資源化の必要性について子どもたちへの環境教育を推進する
13. 自治会やマンションなど、地域における自主的な取組みを広める
14. その他

問 13 ごみの分別や減量化、資源化に関してご意見がございましたら、ご記入ください。



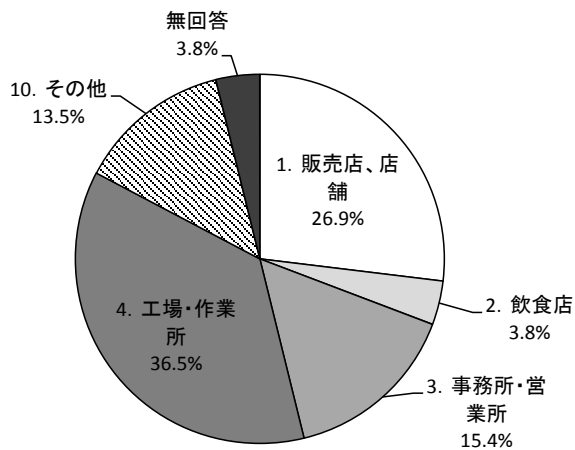
3 事業者アンケート結果

■業種



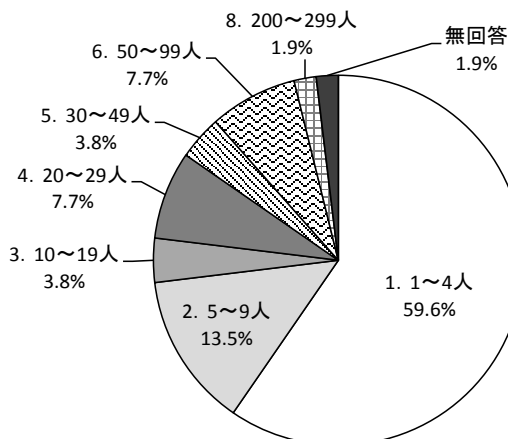
1. 建設業	7
2. 製造業	19
3. 電気・ガス・熱供給・水道業	1
6. 卸売業、小売業	11
7. 金融業、保険業	3
10. 宿泊業、飲食サービス業	1
13. 医療、福祉	2
14. 複合サービス事業	1
15. サービス業(他に分類されないもの)	6
無回答	1

■事業形態



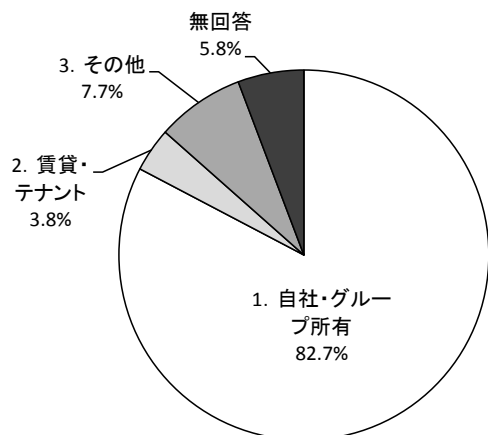
1. 販売店、店舗	14
2. 飲食店	2
3. 事務所・営業所	8
4. 工場・作業所	19
10. その他	7
無回答	2

■従業員数（非正規従業員含む。）



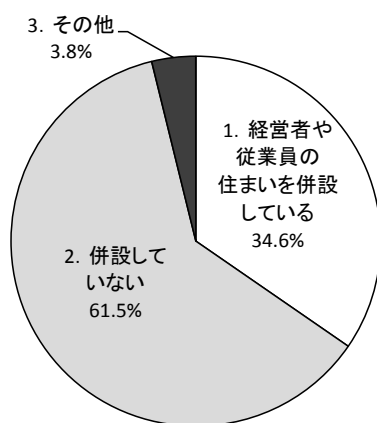
1. 1~4人	31
2. 5~9人	7
3. 10~19人	2
4. 20~29人	4
5. 30~49人	2
6. 50~99人	4
8. 200~299人	1
無回答	1

■事業所の所有形態



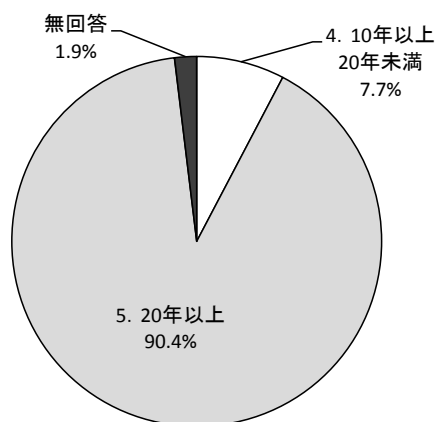
1. 自社・グループ所有	43
2. 賃貸・テナント	2
3. その他	4
無回答	3

■住宅併設



1. 経営者や従業員の住まいを併設している	18
2. 併設していない	32
3. その他	2

■営業年数



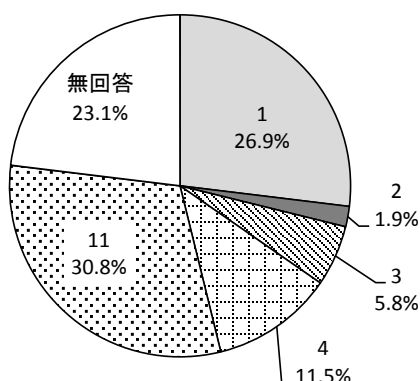
4. 10年以上20年未満	4
5. 20年以上	47
無回答	1

問1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。排出方法については下記の選択肢から該当する番号をそれぞれ選んで、番号を記入し、1か月当たりの排出量を記入してください。（排出方法が複数の場合は多いものを記入してください）また、分別の有無については行っているものに○を、分別していない場合はその理由を右欄に記入してください。

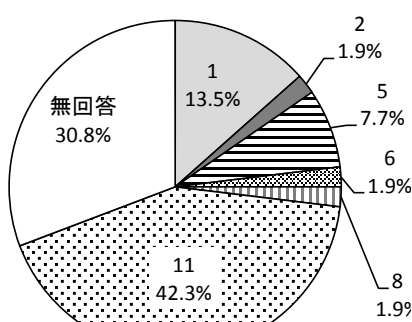
《選択肢》

- ① 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している
- ② 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している
- ③ 自らみどり園に直接搬入している
- ④ 産業廃棄物処理業者に処理を委託している
- ⑤ リサイクル業者に売却している
- ⑥ 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している
- ⑦ 企業内・企業グループ内でリサイクルしている
- ⑧ 納入業者（販売者）が回収している
- ⑨ 本社（本店）が一括しているので分からない
- ⑩ 建物の管理会社に任せているので分からない
- ⑪ 発生しない

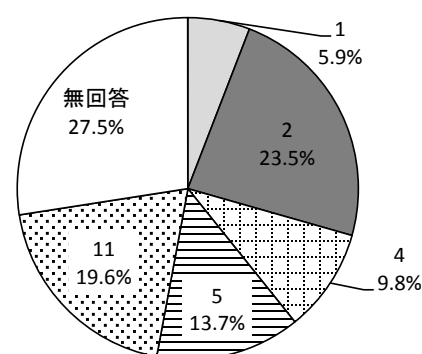
生ごみ



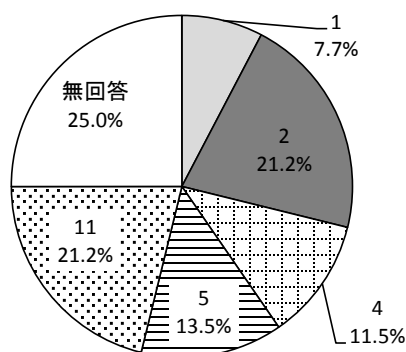
食用廃油



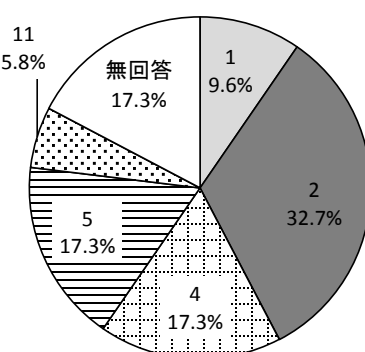
新聞



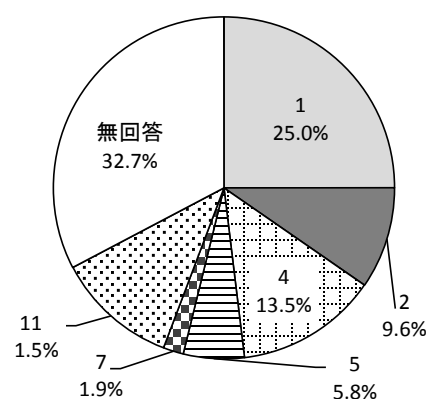
雑誌



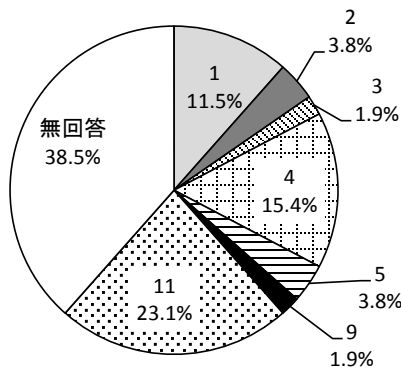
ダンボール



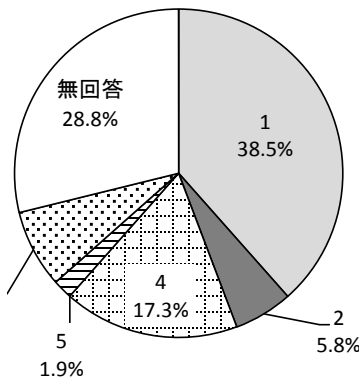
コピー用紙、OA用紙



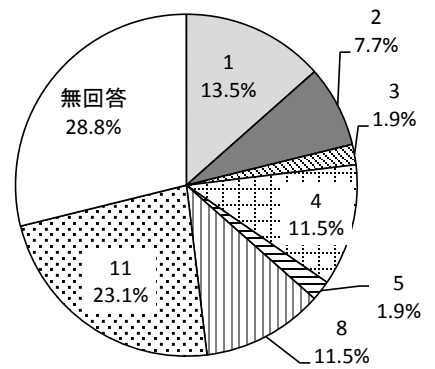
機密文書



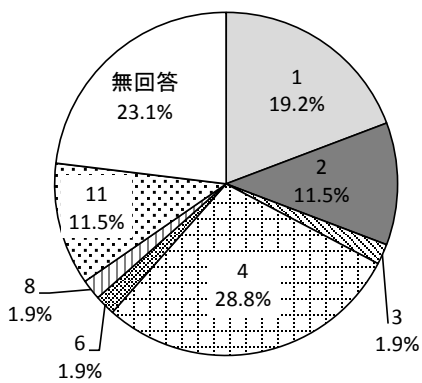
雑紙(メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず)



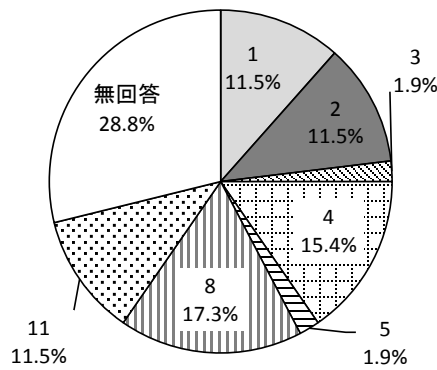
ペットボトル



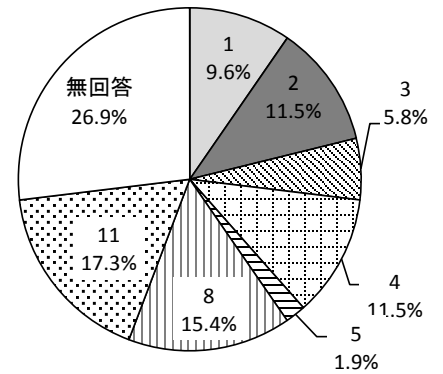
プラスチック類



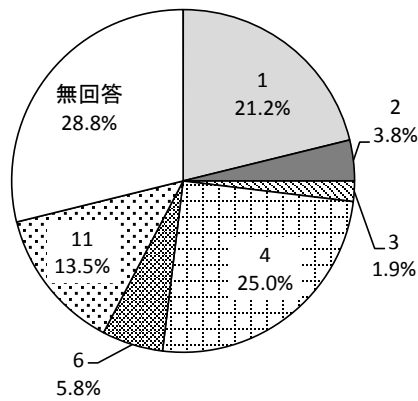
缶類



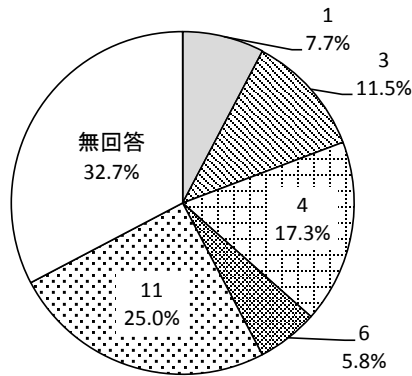
びん



不燃ごみ



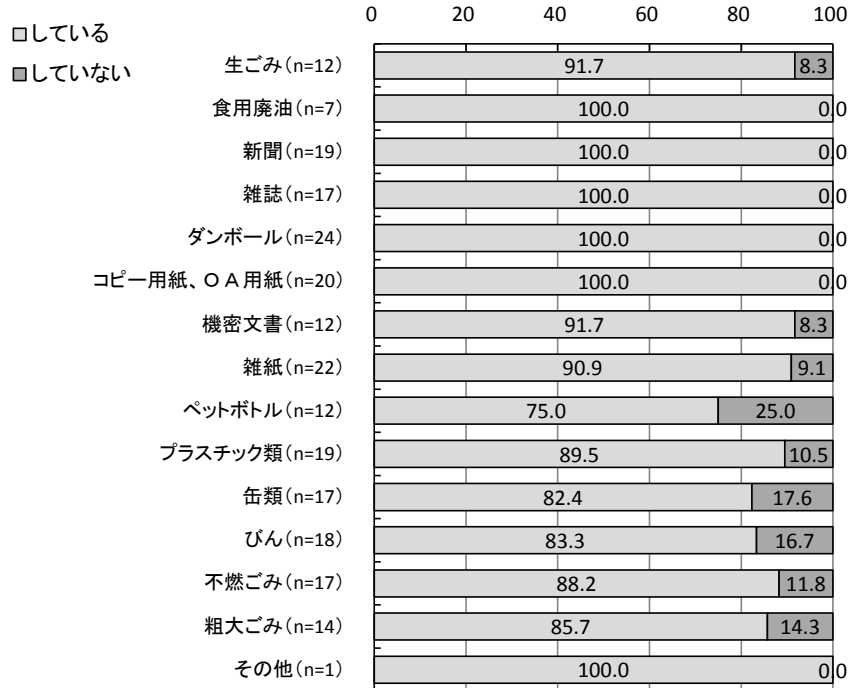
粗大ごみ



	生ごみ	食用廃油	新聞	雑誌	ダンボール	コピー用紙、OA用紙	機密文書	雑紙	ペットボトル	プラスチック類	缶類	びん	不燃ごみ	粗大ごみ	その他
1	14	7	3	4	5	13	6	20	7	10	6	5	11	4	
2	1	1	12	11	17	5	2	3	4	6	6	6	2		1
3	3						1		1	1	1	3	1	6	2
4	6		5	6	9	7	8	9	6	15	8	6	13	9	1
5		4	7	7	9	3	2	1	1		1	1			
6		1								1			3	3	
7						1									
8		1							6	1	9	8			
9							1								
10															
11	16	22	10	11	3	6	12	4	12	6	6	9	7	13	1
無回答	12	16	14	13	9	17	20	15	15	12	15	14	15	17	46

雑紙：メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず

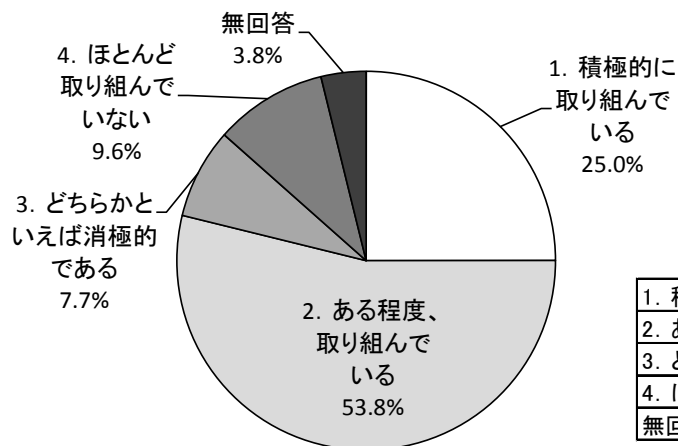
■分別の有無



分別	生ごみ	食用廃油	新聞	雑誌	ダンボール	コピー用紙、OA用紙	機密文書	雑紙	ペットボトル	プラスチック類	缶類	びん	不燃ごみ	粗大ごみ	その他
○	11	7	19	17	24	20	11	20	9	17	14	15	15	12	1
×	1	0	0	0	0	0	1	2	3	2	3	3	2	2	0

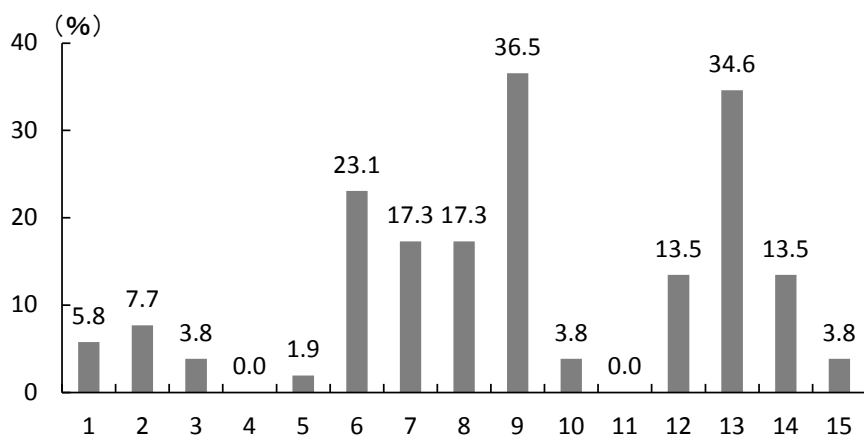
○：分別している ×：分別していない

問2 貴事業所のごみ減量化・資源化に関する取組についてお聞きます。(○は1つ)



1. 積極的に取り組んでいる	13
2. ある程度、取り組んでいる	28
3. どちらかといえば消極的である	4
4. ほとんど取り組んでいない	5
無回答	2

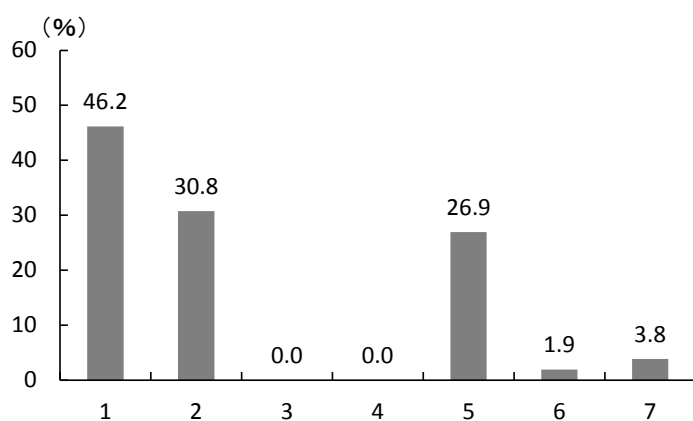
問3 貴事業所では、ごみ減量化・資源化に関してどのような取組を行っていますか。
(〇はいくつでも)



1	3
2	4
3	2
4	0
5	1
6	12
7	9
8	9
9	19
10	2
11	0
12	7
13	18
14	7
15	2

1. 減量目標を定めて、ごみの減量に取り組んでいる
2. ごみの減量化や資源化を事業所内に呼びかけている
(ポスターや注意書きの掲示など)
3. ごみの減量化や資源化を推進する部署や担当者を設置している
4. ごみの減量化や資源化のマニュアルを作成している
5. ごみに関する検討委員会や組織を設置している
6. 取引先や納入業者に簡易包装等の省資源化や通い箱の使用を依頼している
7. 書類のペーパーレス化に努めている
8. 古紙回収箱を設置している
9. 缶やびんの分別回収箱を設置している
10. 周辺の事業所と協働して古紙を資源化している
11. 排出するごみや資源物の計量を行っている
12. 紙コップなど使い捨て製品の使用削減に努めている
13. 再生紙など再生用品の使用に努めている
14. 特に取り組んでいない
15. その他

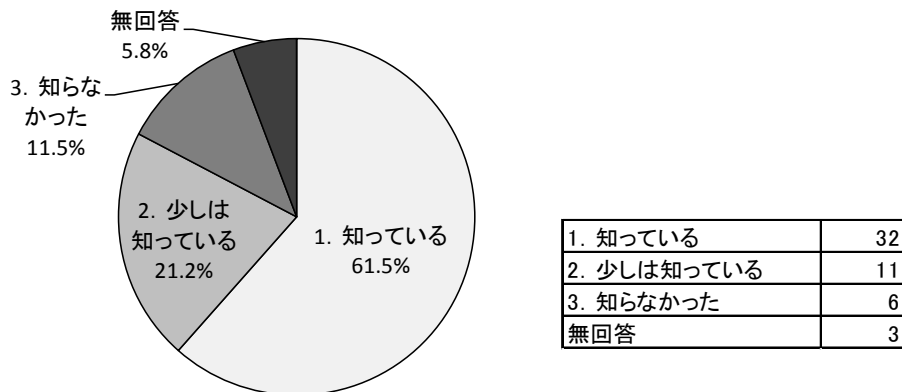
問4 貴事業所で、ごみ減量化・資源化に取り組む主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)



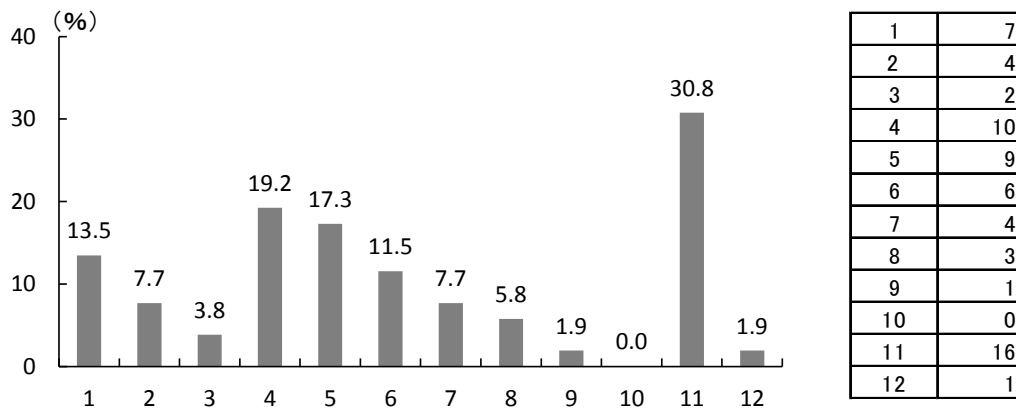
1	24
2	16
3	0
4	0
5	14
6	1
7	2

1. ごみを減らすことでコスト削減につながるため
2. 会社の社会的責任を果たすため
3. 会社の宣伝やイメージアップを図るため
4. ISO14001等の認証を取得している（または取得したい）ため
5. 法律で定められているため
6. 会社全体で規定されているため
7. その他

問5 事業活動により発生するごみは、事業者の責任において処理することが義務付けられています。このことについて知っていましたか。（○は1つ）

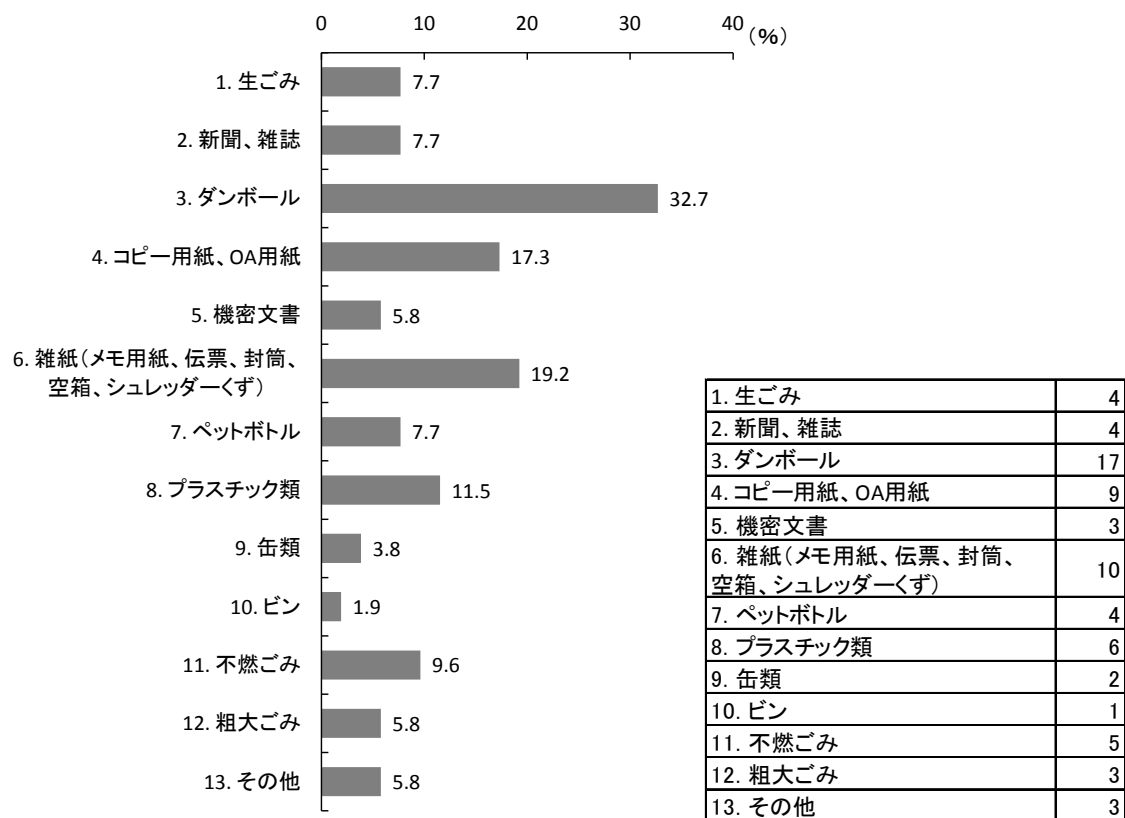


問6 貴事業所で、ごみ減量化・資源化を進めていくうえでの問題点は何ですか。（○はいくつでも）

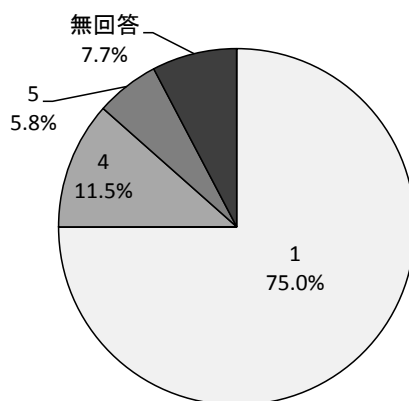


1. 資源物を保管しておく場所がない
2. 資源物やリサイクル可能な不用品の引渡し先（回収業者）が分からない
3. 従業員に分別の徹底やごみ減量の意識を浸透させることが難しい
4. 資源化できるものが出ない、または発生量が少ない
5. ごみの減量化、分別に手間がかかる
6. ごみの減量化、分別に費用がかかる
7. 機密書類が多く、リサイクルが難しい
8. 産業廃棄物との区別が難しい
9. 分別や排出方法のルールが分からない、理解しにくい
10. ごみ処理について質問や相談する窓口（町）が分からない
11. 特に問題ない
12. その他

問7 貴事業所で、今後減量化、資源化を進めたいと考えている品目はありますか。(〇はいいくつでも)

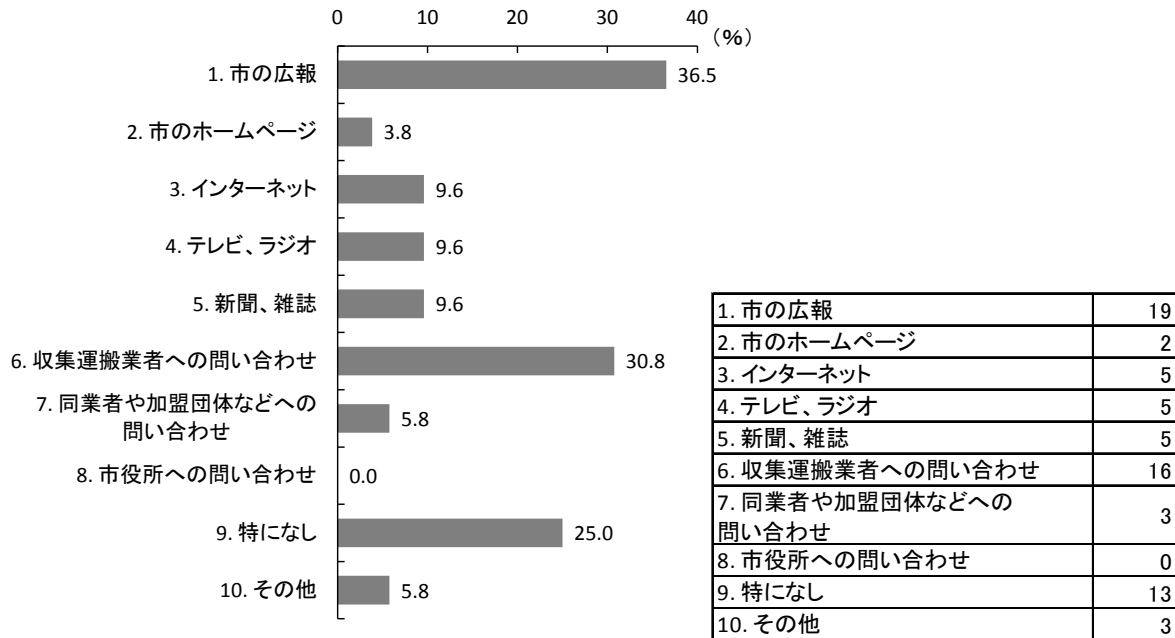


問8 貴事業所において、ごみ処理にかかる費用について把握していますか。(〇は1つ)

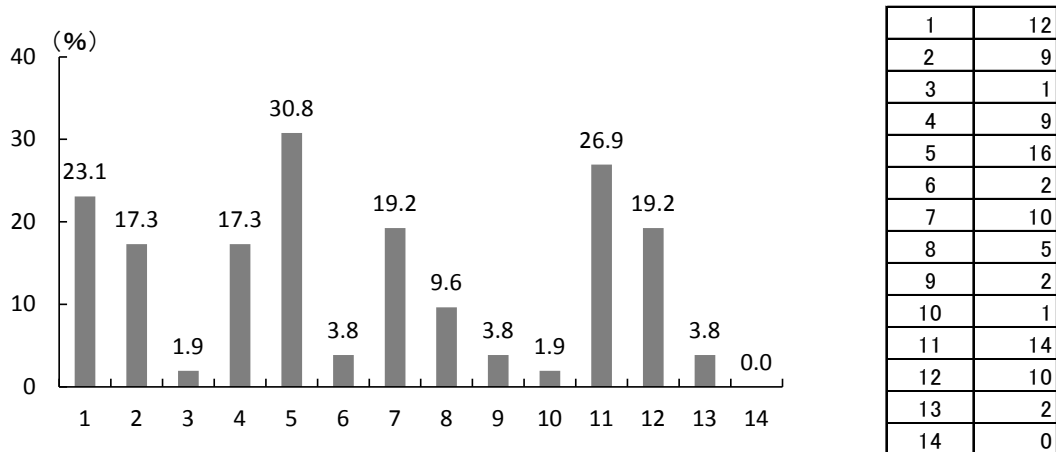


1. 許可業者等に直接費用を支払っており把握している	39
2. 直接支払っていないが管理会社等から資料を入手し把握している	0
3. 事務所の管理費や共益費に含まれているため具体的な費用は分からない	0
4. 処理費用は特に意識していないため分からない	6
5. その他	3
無回答	4

問9 ごみ減量やリサイクルに関する情報をどのようにして入手していますか。(〇はいくつでも)



問10 ごみ減量化・資源化を進めていくためには、どのような施策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)



- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発、指導 | 3. 優良事業所の紹介や表彰 |
| 2. ごみ減量化・資源化マニュアルの提供 | 5. 収集運搬業者、処理業者に関する情報提供 |
| 4. ごみ減量化・資源化の事例紹介 | 7. ごみ処理に関する相談窓口や体制の充実 |
| 6. 法令や条例等の規制に関する情報提供 | 9. 罰則制度の強化・徹底 |
| 8. 事業者を対象とした廃棄物の講習会の開催 | 11. リサイクル事業の拡充 |
| 10. ごみ収集運搬業者の指導強化 | 13. 社内研修などによる従業員の意識向上 |
| 12. 資源循環の推進 | |
| 14. その他 | |

4 目標設定等の考え方

(1) 将来人口について

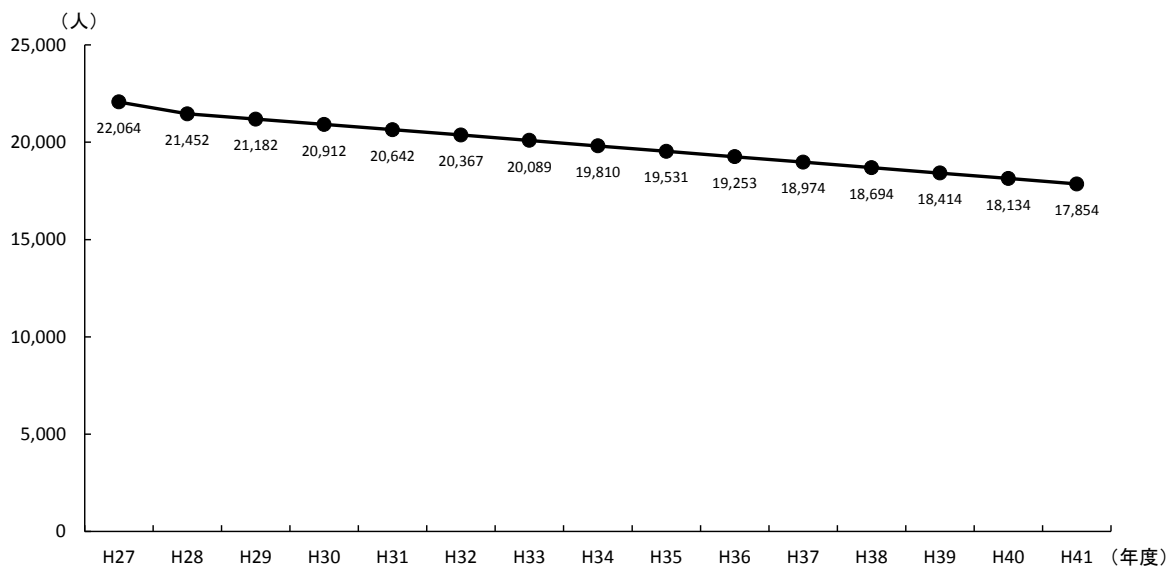
多可町人口ビジョン（住民基本台帳ベース推計／現状維持パターン）の結果に基づいて、2029（平成 41）年度までの人口の補完推計を行った後、10 月 1 日人口への補正を行いました。

本町の人口は減少が続いており、目標年度における人口は、17,854 人となる見込みです。

図表 4－1 目標年度の将来人口

平成27年度 (基準年度)	平成35年度 (中間目標年度)	平成41年度 (目標年度)
22,064人	19,531人	17,854人

図表 4－2 目標年度の将来人口

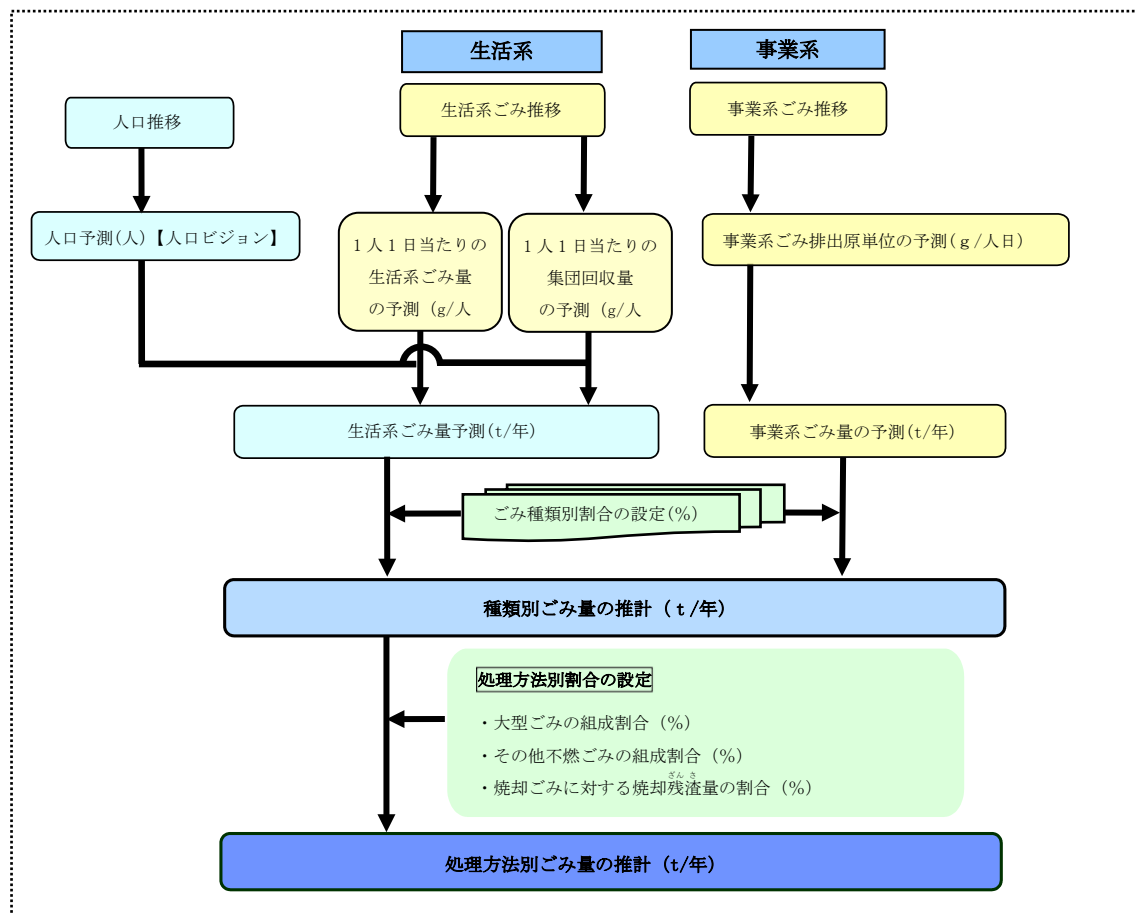


(2) ごみ排出量の将来予測

①推計手順

生活系ごみと事業系ごみの推計をそれぞれ行い、図表 4－3 に示す手順で推計を行いました。

図表 4－3 ごみ量の推計手順



＜現状推移の予測＞

○生活系ごみ

過去6年間の排出原単位の傾向を踏まえ、将来推計を行いました。現状の施策の継続を前提にごみ種類別の割合は2015（平成27）年度の比率を用いて按分を行いました。

○事業系ごみ

過去6年間の排出原単位の傾向を踏まえ、将来推計を行いました。現状の施策の継続を前提にごみ種類別の割合は2015（平成27）年度の比率を用いて按分を行いました。2018（平成30）年度以降、事業系燃えるごみとして搬入される道路整備等の剪定枝については2014（平成26）年度実績が継続するものとします。

○集団回収

過去6年間の排出原単位の傾向を踏まえ将来推計を行いました。現状の施策の継続を前提にごみ種類別の割合は2015（平成27）年度の比率を用いて按分を行いました。

②ごみ排出量の将来予測結果（現状推移）

予測結果をまとめたものを図表４－４に示します。

図表４－４ ごみ量の将来予測（現状推移）

（排出原単位：g／人日、ごみ排出量：t）

年度		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
排出原単位	生活系ごみ	409.6	410.5	411.4	412.2	412.9	413.6	414.3	414.9	415.5	416.0	416.5	417.0	417.5	417.9
	収集	393.3	394.2	395.1	395.8	396.5	397.2	397.8	398.4	399.0	399.5	400.0	400.4	400.9	401.3
	燃えるごみ	351.4	352.2	352.9	353.6	354.2	354.8	355.4	355.9	356.5	356.9	357.3	357.7	358.1	358.5
	資源ごみ	33.8	33.9	34.0	34.0	34.1	34.2	34.2	34.3	34.3	34.4	34.4	34.4	34.5	34.5
	その他の不燃物類	7.4	7.4	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.6	7.6	7.6	7.6
	大型ごみ	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
	直接搬入	16.3	16.3	16.3	16.4	16.4	16.4	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.6	16.6	16.6
	大型ごみ	16.3	16.3	16.3	16.4	16.4	16.4	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.6	16.6	16.6
	事業系ごみ	126.0	128.4	156.1	157.7	158.9	160.0	160.8	161.5	162.1	162.7	163.2	163.8	164.2	164.8
	収集	110.0	112.1	113.7	114.7	115.5	116.1	116.5	116.7	116.9	117.1	117.2	117.3	117.3	117.4
	燃えるごみ	108.6	110.7	112.3	113.1	113.9	114.5	114.9	115.1	115.3	115.5	115.6	115.7	115.7	115.8
	資源ごみ	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	その他の不燃物類	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	直接搬入	16.0	16.3	42.4	43.0	43.4	43.9	44.3	44.8	45.2	45.6	46.0	46.5	46.9	47.4
	燃えるごみ	14.6	14.9	15.1	15.1	15.2	15.3	15.3	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4
	資源ごみ	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	その他の不燃物類	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	剪定枝			25.9	26.3	26.6	27.0	27.4	27.8	28.2	28.6	29.0	29.5	29.9	30.4
	合計	535.6	538.9	541.6	543.6	545.2	546.6	547.7	548.6	549.4	550.1	550.7	551.3	551.8	552.3
ごみ排出量	集団回収	114.5	113.5	112.6	111.7	110.9	110.2	109.5	108.8	108.2	107.6	107.0	106.4	105.9	105.4
	総排出量	650.1	652.4	680.1	681.6	682.7	683.8	684.6	685.2	685.8	686.3	686.7	687.2	687.6	688.1
	生活系ごみ	3,207	3,173	3,140	3,106	3,069	3,033	2,995	2,958	2,920	2,881	2,842	2,802	2,763	2,723
	収集	3,079	3,047	3,016	2,982	2,947	2,913	2,876	2,840	2,804	2,767	2,729	2,690	2,653	2,615
	燃えるごみ	2,751	2,723	2,694	2,664	2,633	2,602	2,570	2,537	2,505	2,472	2,437	2,403	2,370	2,335
	資源ごみ	265	262	260	256	253	251	247	245	241	238	235	231	228	225
	その他の不燃物類	58	57	57	57	56	55	54	53	53	52	52	51	50	50
	大型ごみ	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	直接搬入	128	126	124	124	122	120	119	118	116	114	113	112	110	108
	大型ごみ	128	126	124	124	122	120	119	118	116	114	113	112	110	108
	事業系ごみ	987	993	1,192	1,188	1,182	1,173	1,163	1,151	1,139	1,127	1,114	1,101	1,087	1,074
	収集	862	867	868	864	859	851	843	832	822	811	800	789	776	765
	燃えるごみ	852	857	858	852	847	839	831	820	810	799	790	779	766	755
	資源ごみ	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
	その他の不燃物類	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
	直接搬入	125	126	324	324	323	322	320	319	317	316	314	312	311	309
	燃えるごみ	114	116	116	114	113	112	110	109	107	106	106	104	103	101
	資源ごみ	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
	その他の不燃物類	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
	剪定枝			198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198
	集団回収	896	878	859	841	824	808	792	776	760	745	730	716	701	687
	総排出量	5,090	5,044	5,191	5,135	5,075	5,014	4,950	4,885	4,819	4,753	4,686	4,619	4,551	4,484
	資源化率(%)	25.6	25.4	24.2	24.1	24.0	23.9	23.7	23.7	23.5	23.4	23.3	23.3	23.2	23.1
	リサイクル率(%)	23.6	23.3	22.3	22.1	22.0	21.9	21.8	21.7	21.5	21.5	21.3	21.3	21.2	21.1
	1人1日当たり燃やすごみ量(g/人日)	488	492	520	522	523	525	527	528	529	530	531	532	533	534
	最終処分量(t)	437	433	449	447	442	437	432	427	423	417	411	405	399	395

(3) 目標値の設定

① 目標設定項目

目標設定項目については、重点目標として以下の4つを設定します。また、それぞれの項目における目標値を②に示します。

図表4-5 重点目標として設定する項目

重点目標1	1人1日当たりごみ排出量（集団回収除く。）
重点目標2	資源化率
重点目標3	1人1日当たり燃やすごみ量
重点目標4	最終処分量

② 目標値

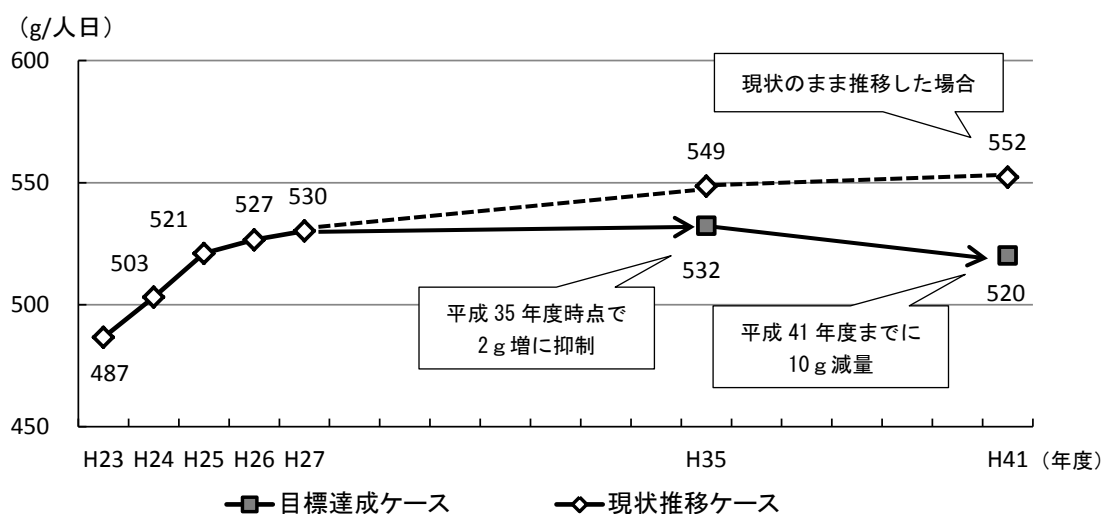
ア 1人1日当たりごみ排出量（集団回収除く。）

ごみの減量（発生抑制）に向けては、総排出量で設定した場合、人口の増減に左右されるため、住民一人ひとりが積極的に取り組んでも、その成果が見えにくくなります。また、集団回収については、今後も強化を図るため、回収量が増える可能性があり、減量の指標からは除外することが適当であると考えます。

以上のことから、ごみ排出量における指標として「1人1日当たりごみ排出量（集団回収除く。）」を設定します。

2029（平成41）年度の目標値は、2015（平成27）年度の実績から10g削減し、「520g／人日」とします。

図表4-6 1人1日当たりごみ排出量（集団回収除く。）

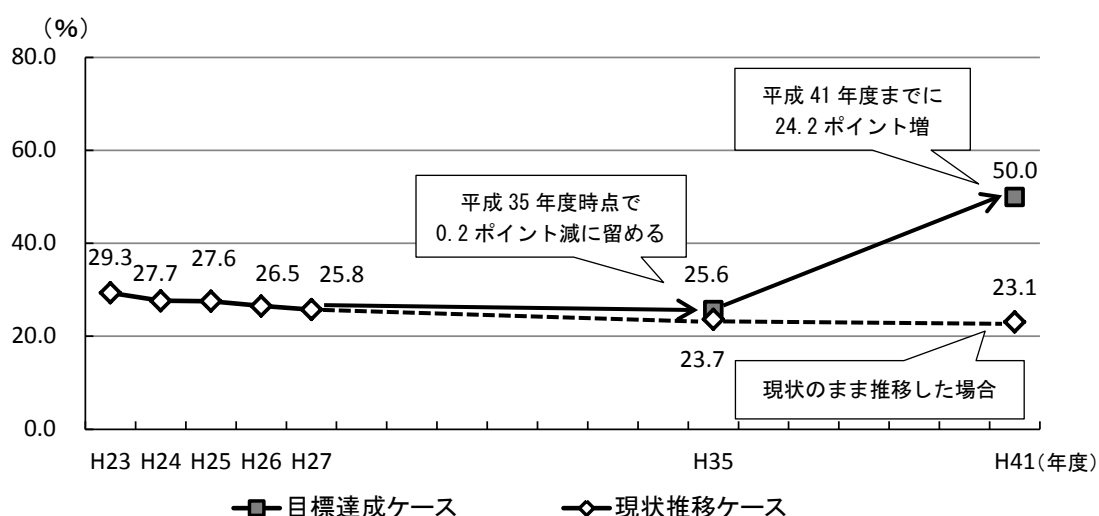


イ 資源化率

排出されるごみについては、できる限り資源化する必要があります。ごみ質調査の結果から、燃えるごみには、資源ごみ等の資源化可能物が混入していることが分かっています。これらの分別の推進と資源ごみ及び集団回収量増加といった、資源化に向けた取組の進捗状況が分かる指標として「資源化率」を設定します。

2029（平成 41）年度の目標値は、2015（平成 27）年度の実績から 24.2 ポイント増加させ「50%」とします。

図表 4－7 資源化率

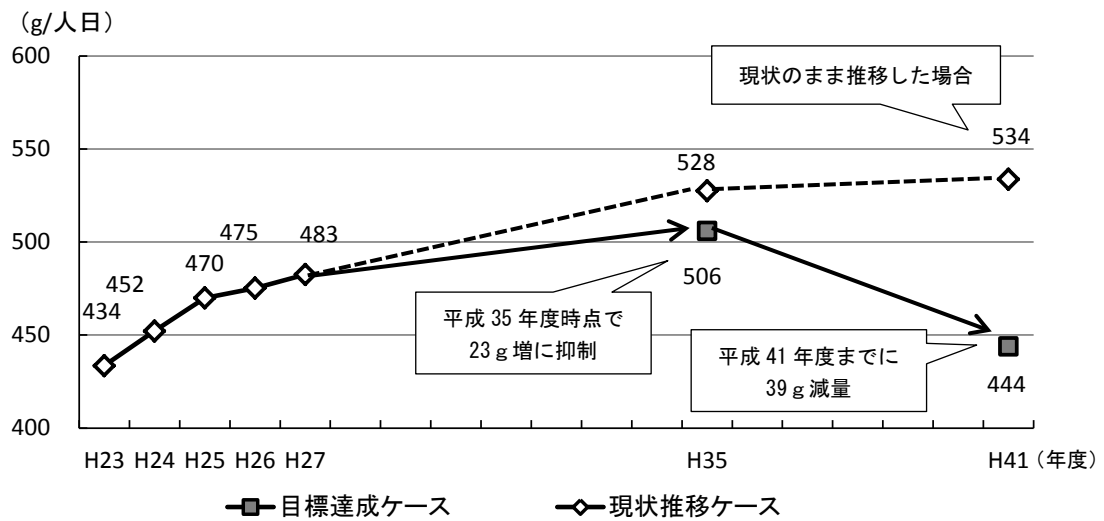


ウ 1人1日当たり燃やすごみ量

今後については、分別排出の意識を高めることにより、資源化の推進及び焼却処理量の削減を目指す必要があります。また、温室効果ガス排出量の低減の観点からも、ごみの減量及び焼却量の削減による温室効果ガスの発生抑制に取り組む必要があります。そのため、燃えるごみ中の紙類や容器包装プラ等の分別の向上、水きりといった燃えるごみの減量に向けた取組の進捗状況が分かる指標として「1人1日当たり燃やすごみ量」を設定します。

2029（平成 41）年度の目標値は、2015（平成 27）年度の実績から 39 g 削減し、「444 g／人日」とします。

図表 4－8 1人1日当たり燃やすごみ量

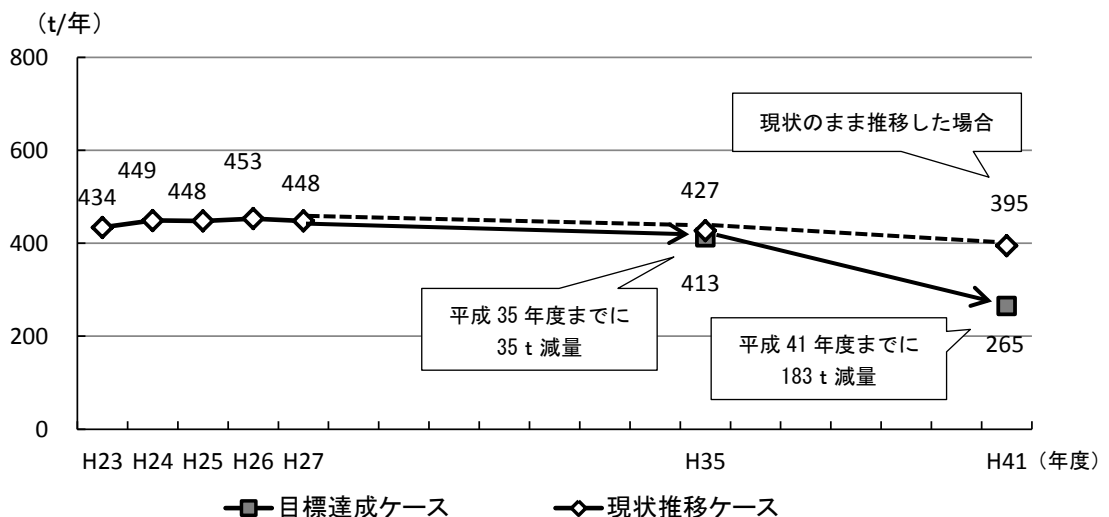


エ 最終処分量

中間処理後の^{ざん}残^き渣や焼却灰等については、埋立処分をしていますが、将来にわたり処分を継続するためには、埋立量の削減が必要です。更なる資源化の推進等、最終処分量削減の進捗状況が分かる指標として「最終処分量」を設定します。

2029（平成 41）年度の目標値は、2015（平成 27）年度の実績から 183 t 削減し、「265 t」とします。

図表 4－9 最終処分量



③施策の効果を踏まえたごみ排出量の将来予測結果（目標達成ケース）

目標を達成した場合の排出量等について、図表４－１０に示します。

図表４－１０ ごみ量の将来予測（目標達成ケース）

（排出原単位：g／人日、ごみ排出量：t）

年度		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
排出原単位	生活系ごみ	409.6	410.5	410.0	409.4	408.6	408.0	407.3	406.5	405.7	404.9	403.9	403.0	402.1	401.1
	収集	393.3	394.2	393.7	393.0	392.2	391.6	390.8	390.0	389.2	388.4	387.4	386.4	385.5	384.5
	燃えるごみ	351.4	352.2	350.7	349.2	347.4	345.9	344.3	342.6	337.7	333.0	327.9	323.1	318.1	314.4
	資源ごみ	33.8	33.9	34.8	35.6	36.6	37.5	38.3	39.2	43.3	47.2	51.2	55.0	59.1	61.8
	その他の不燃物類	7.4	7.4	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.6	7.6	7.6	7.6
	大型ごみ	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
	直接搬入	16.3	16.3	16.3	16.4	16.4	16.4	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.6	16.6	16.6
	大型ごみ	16.3	16.3	16.3	16.4	16.4	16.4	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.6	16.6	16.6
	事業系ごみ	126.0	128.4	154.8	155.1	155.0	154.8	154.3	153.7	153.0	152.3	151.5	150.8	149.9	149.5
	収集	110.0	112.1	112.4	112.1	111.6	110.9	110.0	108.9	107.8	106.7	105.5	104.3	103.0	102.1
	燃えるごみ	108.6	110.7	111.0	110.5	110.0	109.3	108.4	107.3	106.2	105.1	103.9	102.7	101.4	100.5
	資源ごみ	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	その他の不燃物類	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	直接搬入	16.0	16.3	42.4	43.0	43.4	43.9	44.3	44.8	45.2	45.6	46.0	46.5	46.9	47.4
	燃えるごみ	14.6	14.9	15.1	15.1	15.2	15.3	15.3	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4
	資源ごみ	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	その他の不燃物類	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	剪定枝			25.9	26.3	26.6	27.0	27.4	27.8	28.2	28.6	29.0	29.5	29.9	30.4
	合計	535.6	538.9	538.9	538.2	537.0	535.8	534.2	532.4	530.5	528.6	526.4	524.3	522.1	520.2
ごみ排出量	集団回収	114.5	113.5	113.6	113.7	114.0	114.3	114.6	114.9	115.3	115.7	116.2	116.6	117.1	117.6
	総排出量	650.1	652.4	678.4	678.2	677.6	677.1	676.2	675.1	674.0	672.9	671.6	670.4	669.1	668.2
	生活系ごみ	3,207	3,173	3,129	3,085	3,037	2,992	2,945	2,897	2,851	2,804	2,756	2,709	2,662	2,614
	収集	3,079	3,047	3,005	2,961	2,915	2,872	2,826	2,779	2,735	2,690	2,643	2,597	2,552	2,506
	燃えるごみ	2,751	2,723	2,677	2,631	2,582	2,537	2,490	2,442	2,373	2,306	2,237	2,171	2,106	2,048
	資源ごみ	265	262	266	268	272	275	277	279	304	327	349	370	391	403
	その他の不燃物類	58	57	57	57	56	55	54	53	53	52	52	51	50	50
	大型ごみ	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	直接搬入	128	126	124	124	122	120	119	118	116	114	113	112	110	108
	大型ごみ	128	126	124	124	122	120	119	118	116	114	113	112	110	108
	事業系ごみ	987	993	1,182	1,168	1,153	1,135	1,116	1,096	1,075	1,055	1,034	1,013	992	974
	収集	862	867	858	844	830	813	796	777	758	739	720	701	681	665
	燃えるごみ	852	857	848	832	818	801	784	765	746	727	710	691	671	655
	資源ごみ	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
	その他の不燃物類	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
	直接搬入	125	126	324	324	323	322	320	319	317	316	314	312	311	309
	燃えるごみ	114	116	116	114	113	112	110	109	107	106	106	104	103	101
	資源ごみ	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
	その他の不燃物類	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
	剪定枝			198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198
	集団回収	896	878	867	857	847	838	828	820	810	801	793	784	775	766
	総排出量	5,090	5,044	5,178	5,110	5,037	4,965	4,889	4,813	4,736	4,660	4,583	4,506	4,429	4,354
資源化率(%)		25.6	25.4	24.6	24.8	25.0	25.2	25.4	25.6	29.9	32.9	35.9	39.1	42.3	50.0
リサイクル率(%)		23.6	23.3	22.6	22.8	23.0	23.2	23.4	23.6	24.7	25.6	26.6	27.5	28.5	33.8
1人1日当たり燃やすごみ量(g/人日)		487	491	516	514	512	510	508	506	501	495	490	484	479	444
最終処分量(t)		437	433	446	442	435	428	421	413	380	361	341	321	301	265

④減量・資源化の施策による見込み（例）

本計画期間に取り組む主な施策について、ごみ質調査や住民・事業者アンケート調査結果等に基づき試算した結果、次のような減量・資源化量が見込まれます。

図表 4－11 施策による減量・資源化の見込み（項目）

減量につながる施策		
施策①	生ごみの水きりの徹底	生活系
施策②	詰め替え容器の利用促進による排出抑制	生活系
施策③	事業系燃えるごみに含まれている紙類の減量・資源化処理の促進による排出抑制	事業系
施策④	事業系燃えるごみに含まれている廃プラスチック類の混入防止	事業系
資源化につながる施策		
施策①	燃えるごみに混入されている容器包装プラの資源ごみ排出への移行促進	生活系
施策②	燃えるごみに混入されている資源化可能な紙類の集団回収への排出促進	生活系
施策③	燃えるごみに混入されている容器包装プラ以外のプラスチック類の分別収集の実施	生活系
施策④	燃えるごみに混入されている ^{せん} 剪定枝・草木の分別収集の実施	生活系
施策⑤	焼却灰のセメント資源化	生活系・事業系

図表 4－12 施策による減量・資源化の見込み（量の目安）

【減量につながる施策】

右側の g は 1 人 1 日当たりの減量の目安です。

施策①「生ごみの水きりの徹底」

4.3 g

条件

- ・ごみ質調査：燃えるごみ中の厨芥類（都市計画区域及び都市計画区域外の平均値）36.0%
- ・アンケート調査：生ごみの水きりを「いつもしている」と回答した以外の割合 54.9%
- ・水きり削減率：全国事例平均 12%
- ・協力率：（想定）50%
- ・目標年度の生活系燃えるごみ原単位：358.5 g／人日

施策②「詰め替え容器の利用促進による排出抑制」

0.3 g

条件

- ・アンケート調査：詰め替えや繰り返し使用可能な商品の選択を「いつもしている」「ほとんどしている」と回答した以外の割合 26.0%
- ・容器の平均的重量：42.4 g
- ・各世帯の削減個数：(想定) 5 個/月
- ・各世帯の人数：2.94 人/世帯
- ・協力率：(想定) 50%

施策③「事業系燃えるごみに含まれている紙類の減量・資源化処理の促進による排出抑制」

9.3 g

条件

- ・ごみ質調査：事業系燃えるごみ中の資源化可能な紙類 28.8%
- ・アンケート調査：「新聞・雑誌」「ダンボール」「コピー用紙、OA用紙」「雑紙」を挙げた割合 56%
- ・協力率：(想定) 50%
- ・目標年度の事業系燃えるごみ原単位：115.8 g/人日

施策④「事業系燃えるごみに含まれている廃プラスチック類の混入防止」

6.0 g

条件

- ・ごみ質調査：事業系燃えるごみ中の廃プラスチック類 10.3%
- ・改善目標：事業系燃えるごみ中の廃プラスチック類を現状の半分にする 0.5
- ・協力率：(想定) 100%
- ・目標年度の事業系燃えるごみ原単位：115.8 g/人日

【資源化につながる施策】

右側の g は 1 人 1 日当たりの資源化量の目安です。

施策①「燃えるごみに混入されている容器包装プラの資源ごみ排出への移行促進」

10.4 g

条件

- ・ごみ質調査：燃えるごみ中の容器包装プラ
(都市計画区域及び都市計画区域外の平均値) 8.1%
- ・アンケート調査：ごみの分別を「いつもしている」と回答した以外の割合 47.6%
- ・協力率：(想定) 75%
- ・目標年度の生活系燃えるごみ原単位：358.5 g/人日

施策②「燃えるごみに混入されている資源化可能な紙類の集団回収への排出促進」

12.2 g

条件

- ・ ごみ質調査：燃えるごみ中の資源化可能な紙類
(都市計画区域及び都市計画区域外の平均値) 14.3%
- ・ アンケート調査：ごみの分別を「いつもしている」と回答した以外の割合 47.6%
- ・ 協力率：(想定) 50%
- ・ 目標年度の生活系燃えるごみ原単位：358.5 g / 人日

施策③「燃えるごみに混入されている容器包装プラ外のプラスチック類の分別収集の実施」

14.2 g

条件

- ・ ごみ質調査(みどり園)：燃えるごみ中の容器包装プラ以外のプラスチック類の割合
(合成樹脂、乾燥ベース) 24%、水分量 39.4%、湿基準への換算 14.5%
- ・ ごみ質調査：燃えるごみ中の容器包装プラ
(都市計画区域及び都市計画区域外の平均値) 8.1%
- ・ アンケート調査：「分別をいつもしている」「ほとんどしている」と回答した割合 88.0%
- ・ 協力率：(想定) 70%
- ・ 目標年度の生活系燃えるごみ原単位：358.5 g / 人日

施策④「燃えるごみに混入されている^{せん}剪定枝・草木の分別収集の実施」

2.7

g

条件

- ・ ごみ質調査：燃えるごみ中の草木(都市計画区域及び都市計画区域外の平均値)
1.5%
- ・ アンケート調査：^{せん}剪定枝・草木の分別への取組を「積極的に協力」「できる限り協力」と回答した割合 72.0%
- ・ 協力率：(想定) 70%
- ・ 目標年度の生活系燃えるごみ原単位：358.5 g / 人日

施策⑤「焼却灰のセメント資源化」

63 t

条件

- ・ 焼却灰の一部について、セメント資源化に取り組む。

5 ごみの処理方式

常日頃から3Rを実践しても、“ごみ”をゼロにすることは大変難しいことです。しかし、“ごみ”の種類に合った中間処理のひと手間を掛けることにより、有効利用が可能です。

中間処理の方式は“ごみ”の受入れ・保管状態に合わせた適切な処理方法を選択することが大事です。以下に“ごみ”の品目ごとに対応可能な処理方式の例と、処理方式の特徴を説明します。

図表5－1 ごみ品目と対応可能な処理方式

ごみ品目	焼却	RPF化	RDF化	油化	メタガス化	炭化	堆肥化	飼料化
紙くず・木くず	◎	◎	◎	○	◎	◎		
プラスチックごみ	◎	◎	◎	◎		△		
生ごみ	◎		◎		◎	○	◎	△
使用済み紙おむつ	◎	△	△		△			
再生困難な可燃ごみ	◎					◎		

記号：◎＝可能、○＝低効率だが可能、△＝条件付きで可能

図表5－2 処理方式

処理方式	特徴
焼却	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理対象範囲が広く、減容率も約 1/10 と高く、可燃ごみの処理方式としては最も一般的な方式です。 ・ ごみを蒸し焼き（熱分解）し、ガスを抽出し、そのガスで蒸し焼き後の残渣を溶融スラグ化するガス化溶融処理も含まれます。
RPF化 (固形燃料化)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別収集又は収集後に選別された木、紙、プラスチックごみを破碎し、成形機でペレット状（粒状）に固める方式です。 ・ 発熱量や塩素含有量には基準があり、大型ボイラの燃料などに有効利用されています。 ・ RDFと違い、生ごみを入れないので、乾燥工程及び添加剤は不要です。 <p>(※RPF：Refuse Paper & Plastic Fuel の略。紙・木・プラスチックごみから製造された固形燃料)</p>

R D F 化 (固形燃料化)	<ul style="list-style-type: none"> ・ R P F 化同様にゴミを破砕し、不適物を除去後に成形機でペレット状に固める方式です。 ・ 成形する前に乾燥する方式と成形後に乾燥する方式があり、国内では前乾燥が主流となっています。 ・ 成分調整及び腐敗防止のため、一般的には消石灰等の添加剤を用いています。 <p>(※ R D F : Refuse Derived Fuel の略。生ゴミ、プラスチックゴミなどの廃棄物を固形燃料にしたもの)</p>
油化 (液体燃料化)	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチックゴミを破砕し、異物を除去後、脱塩素装置により塩素分を取り除き、残りの炭化水素分を熱分解し、生成油を製造する方式です。 ・ 生成油は、軽質油・中質油・重質油で構成され、取り除いた塩素分は塩酸として回収が可能です。 ・ 熱分解により生成したガス成分（一酸化炭素等）からエタノール等の液体燃料を製造します。
メタンガス化 (気体燃料化)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミを嫌氣的条件下で発酵させることで、嫌気性菌の働きによりバイオガス（メタン：二酸化炭素の比率=約 6:4）を生成させ、熱供給や発電用（発電効率:約 30%）の燃料として利用を行う方式です。 ・ メタンガスから水素を抽出し、燃料電池による発電（発電効率:約 40%）も可能です。
炭化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有機物を低酸素又は無酸素の状態で蒸し焼き（熱分解）した後、発生ガスを燃焼または回収するとともに、熱分解後の炭化物を再生利用する方式です。 ・ 炭化物の発熱量は R D F の約 70%程度であり、低酸素で運転するため、選別された金属類は還元状態で排出され、高い資源価値があります。
堆肥化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微生物の働きを利用して、生ゴミや 剪定枝等を好氣的条件下で発酵処理し、有機物を分解する方式です。 ・ 堆肥化方式では、個々の家庭や事業所からの分別収集あるいは直接搬入した生ゴミ等を破袋・選別などを行った後、数週間から数か月の期間をかけて発酵・熟成させ、堆肥を製造します。 ・ 発酵過程での発熱において、ゴミ中のほとんどの病原性生物が死滅し、雑草の種子が不活性化され、安全な堆肥となります。
飼料化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼料として適切な原料を破砕・加熱し、やわらかくした後、圧搾・乾燥により水分を取り除き、家畜用の飼料を製造する方式です。 ・ 動植物性 残渣 の有用な資源化方式の一つです。

6 多可町環境保全審議会委員名簿

平成30年1月現在

区分	団体名（役職名）	氏名
1号委員	多可町議会議員	酒井 洋子
〃	多可町議会議員	門脇 教蔵
2号委員	元兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科講師 神戸市シルバーカレッジサポーター他	横山 孝雄
〃	元関西学院大学総合政策学部非常勤講師	北尾 進
〃	兵庫県 北播磨県民局県民交流室 環境参事	森 一仁
3号委員	多可町役場 技監	當舎 良章
臨時委員	多可町区長会（上三原区長）	長谷川 英明
〃	多可町保健衛生委員会 会長	杉原 好洋
〃	多可町保健衛生委員会 副会長	門脇 加津子
〃	多可町婦人会（消費者協会） 理事	南畝 香野子
〃	多可町婦人会（消費者協会） 理事	下山 清美
〃	北播磨地球温暖化防止活動推進連絡会	遠藤 隆義
〃	環境グループ「そよ風」	吉崎 和之
〃	多可町商工会 事務局長	原田 豊彦
〃	みのり農業協同組合 多可営農経済センター センター長	足立 道則
〃	北播磨清掃事務組合 専門員	藤原 利昭

7 策定経過

		開催日	主な協議内容
平成28年度	第1回審議会	平成29年2月7日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ○会長・職務代理者選出 ○新ごみ処理施設の整備について ○多可町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）の策定について <ul style="list-style-type: none"> ア ごみ処理基本計画策定指針について イ 一般廃棄物処理基本計画について ウ 計画策定までの協議の流れ エ スケジュールについて オ 西脇市・多可町のごみの現状 ○意見交換
	第1回勉強会	平成29年3月9日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ○講義 <ul style="list-style-type: none"> ・施設紹介ビデオ上映 ・みどり園のデータから見る多可町及び西脇市のごみ処理の現状 ○みどり園施設（焼却施設等）見学 ○はやすクリーンセンター（最終処分場）見学
平成29年度	第2回勉強会	平成29年4月19日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなで“ごみ”を考え、よい“計画”をつくるために」（北尾委員） ○他自治体での減量、資源化施策の事例紹介
	第2回審議会	平成29年5月29日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ○多可町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）についての検討 <ul style="list-style-type: none"> ア 各種調査結果について <ul style="list-style-type: none"> （ア）生活系ごみ質調査及び事業系ごみ質調査 （イ）アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> a 住民アンケート調査 b 事業所アンケート調査 （ウ）ヒアリング調査 イ 各種調査から見た課題
	第3回勉強会	平成29年6月28日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなの知恵と力で「もったいない社会」を」（北尾委員） ○意見交換
	第3回審議会	平成29年7月13日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ○多可町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）についての検討 <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念、基本方針 ・目標項目ほか
	第4回審議会	平成29年8月29日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ○多可町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）策定について <ul style="list-style-type: none"> ・目標値の設定 ・取組や施策内容の検討 ・新ごみ処理施設の整備の在り方 ・推進体制と進行管理ほか
	平成29年11月1日（水）～ 平成29年11月30日（木）		パブリックコメントの実施
	第5回審議会	平成30年1月15日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ○多可町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）策定について <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施経過報告 ・推進体制と進行管理ほか
	答申	平成30年1月22日（月）	○町長へ答申

※勉強会については、西脇市環境審議会と合同開催

8 用語集

【あ行】

01 Rショップ

みどり園のリサイクルプラザ内に常設されている不用品即売コーナー。使い古しでない衣類（洗濯してあるもの）、食器・古本などを安価で販売しています。

【か行】

02 環境マネジメントシステム

組織や事業者が、運営や経営を行う中で環境保全への取組を進めるに当たって、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境管理」や「環境マネジメント」といいます。そして、このための組織、事業所内の体制・手続き等の仕組みを「環境マネジメントシステム」（EMS - Environmental Management System）といいます。

03 許可収集

事業所から排出されたごみを許可業者が収集したものを指します。許可業者はみどり園へ搬入しています。

04 計画収集

家庭からごみステーション等に排出され、みどり園が決まった日程で収集しているごみを指します。

05 （ごみの）減容化

ごみを破碎・圧縮・焼却・脱水等して容積や容量を減少させることを指します。生ごみでは、水きりが該当します。

06 小型家電

携帯電話、デジタルカメラなど家庭で不要となった小型の電化製品を指します。2015（平成27）年10月より小型家電に含まれる金、銀、銅、レアメタルなどの貴重な金属を再利用させるため、みどり園等では携帯電話など16種類の使用済小型家電の無料回収を開始しています。

【さ行】

07 最終処分

焼却や資源化等の中間処理を行った後に発生する、リサイクルができないものや焼却灰を、最終処分場に埋立処分することを指します。

08 3010（さんまる・いちまる）運動

宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで「乾杯後30分間」は席を立たずに料理を楽しみましょう、「お開き10分前」になったら、自分の席に戻

って、再度料理を楽しみましょうと呼びかけて、食べ残しを削減する運動です。

09 集団回収

地域の自治会や子ども会などで行われている、資源ごみ回収（新聞紙・雑誌・段ボールなど）を指します。

10 循環型社会形成推進基本法

国が2000（平成12）年に制定し、循環型社会を構築するに当たっての国民、事業者、市町村、政府の役割が規定された法律です。特に、事業者・国民の「排出者責任」明確化や生産者が自ら生産する製品等について使用され廃棄物となった後まで一定の責任を負う「拡大生産者責任」の原則を明記しています。

11 食品ロス

売れ残りや食べ残し、野菜の皮などの過剰除去等、本来食べられるにもかかわらず廃棄されている食品をいいます。

12 処理残渣埋立量

中間処理施設で処理（焼却や破砕・分別等）されたものの資源化できないため、埋立処分を行っているもの。本町では、焼却灰や不燃物等の処理残渣が該当します。

【た行】

13 段ボールコンポスト

段ボールを利用した生ごみ処理容器です。段ボールにピートモス（肥料の一種）やもみがらくん炭（米のもみがらをいぶして炭にしたもの）等の土壌改良材を入れ、酸素を必要とする微生物の力によって投入した生ごみを分解し、堆肥を作ります。

14 地域循環圏

「第2次循環型社会形成推進基本計画」（2008（平成20）年）で提示された考え方で、資源を可能な限り地域で循環させ、それが困難なものについては循環の輪を広げて対応するなど、重層的な循環型の地域づくりを進めていくというものです。地域循環圏の構築に当たっては、地球温暖化対策や生物多様性保全などの環境面や地域の特性、資源としての希少性や有用性、さらに輸送効率や処理費用などの経済面など様々な観点を踏まえ、資源ごとに最適な範囲での循環を目指すことが肝要です。

図 地域循環圏がもたらす効果（イメージ）



15 中間処理

ごみの減容化、安定化、資源化を目的として、紙類や剪定枝^{せん}の資源化委託や容器包装プラ、ペットボトル等の資源の選別及び圧縮・梱包、不燃物の破碎、可燃ごみの焼却などの処理を指します。

16 中間処理残渣^{ざん}

リサイクルプラザにおける選別処理後に生じる可燃性又は不燃性の残渣^{ざん}をいいます。

17 直接埋立量

焼却や破碎等の中間処理を経ずに埋め立てているもの。本町では、ガラス食器や陶器等の不燃物類が該当します。

18 店頭回収

スーパーなどの小売店の自主的取組として進められており、回収品目は食品トレーや紙パック、ペットボトル、アルミ缶などを中心に行われています。

【は行】

19 排出原単位

1人が1日に排出するごみ量をいいます。

【や行】

20 抑制率

ごみ量等について、当該年度の将来推計値に対してどれだけ抑制するかを割合で示したものです。

多可町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

【発行】平成 30 年 3 月

【発行者】多可町

〒679-1192 兵庫県多可郡多可町中区中村町 123

TEL 0795-32-2380／0795-32-4777(直通)

FAX 0795-32-2661

ホームページ <http://www.town.taka.lg.jp/>

メールアドレス seian@town.taka.lg.jp

【編集】多可町生活安全課